

袁 菜

特 253

952



三和信託



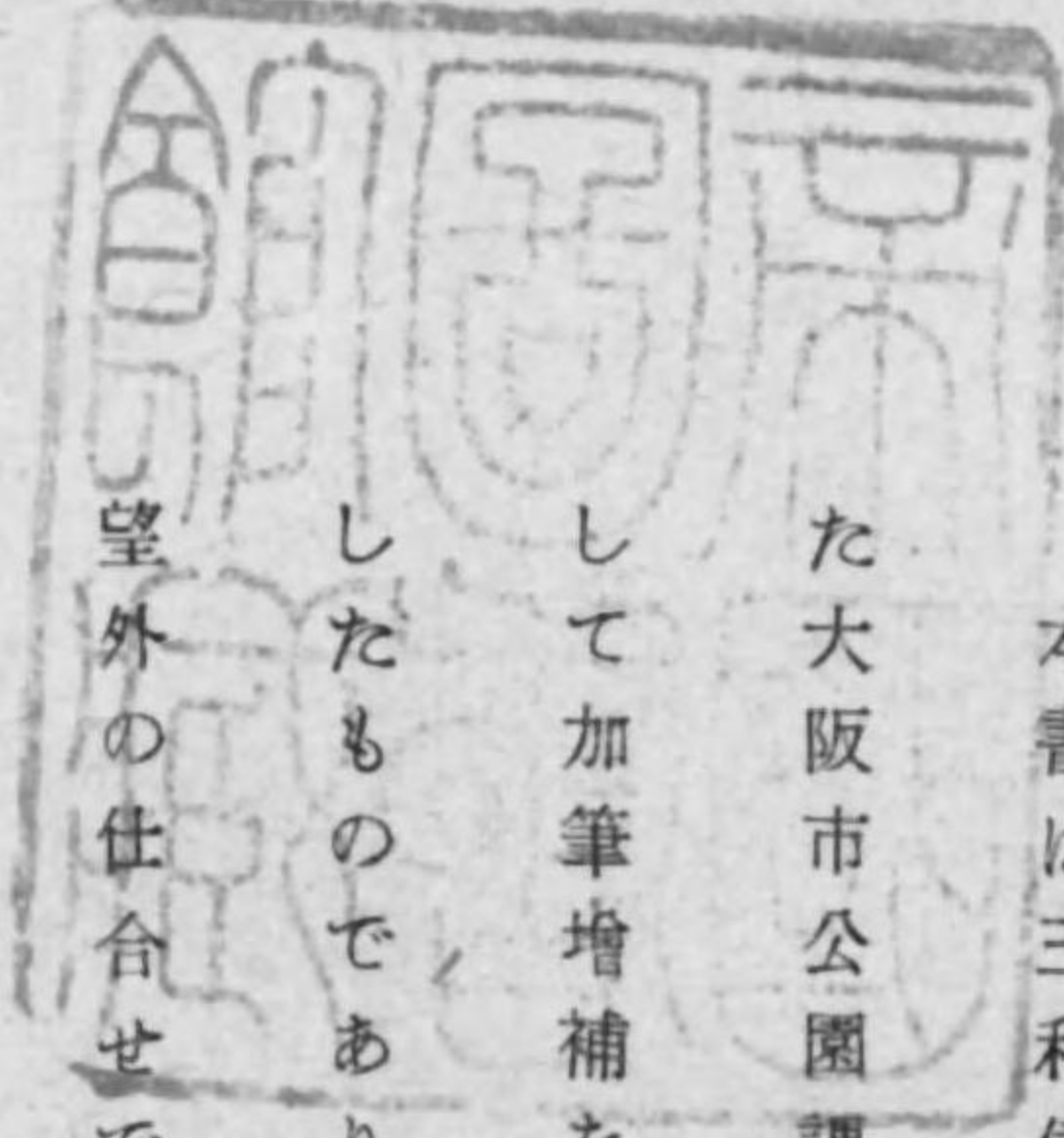
始



特 253
952

序にかへて

本書は三和信託たより第八號から第十九號にわたり連載せられた大阪市公園課吉津良恭氏執筆の「私の菜園」に、更に同氏に御願して加筆増補を受け外に二十數葉の新寫眞と圖版とを加へて編輯したものであります。決戦下食糧増産の一助ともなりますならば望外の仕合せであります。



目次

私の菜園	一月の巻	一頁
	二月の巻	八頁
	三月の巻	一〇頁
	四月の巻	一三頁
	五月の巻	一五頁
	六月の巻	一七頁
	七月の巻	一九頁
	八月の巻	二一頁
	九月の巻	二三頁
	十月の巻	二五頁
	十一月の巻	二七頁
	十二月の巻	二九頁
附録	家庭園向蔬菜栽培要覽	別表

一月の巻

時局下翼賛の一助として、將又趣味の園藝人として空閑地の利用が、近時急激に叫ばれて参りました。この事は嘗に食糧確保の一助となる計りでなく、趣味の涵養或は體位の向上等に資するところ頗る多く、一石二鳥の効果を得られ、洵に好ましい傾向であると思ひます、今迄に顧みられてゐなかつた休閑地も僅かな勞力によつて叮嚀に耕され、美しく作物が培養されてゐる情景は、又どんなにか豊かな充實味を感じるか判りませうまい。

殊に野菜類は其の生育期間が短かく、且つ時期さへ誤らねば、假令素人の方にしても、豫期以上の好結果が得られるものです、私は都市の然も中央部に、素人方の蔬菜栽培とは信じられない程、美事な畠の数々を目の邊りに拜見して居り、其の熱心さと、愛撫振りにはと常に敬服して居るもので御座います。

最近農林省の肝煎で全國を六區域に劃し主要都市の周邊に所謂蔬菜自給園なるものを設置し其の都市の蔬菜消費量の八〇%程度を之れに依つて自給し得る目的のために作付される計畫が立案されて居ると仄聞しました。全く吾々國民の血であり、肉である之等蔬菜を懇に作ることは、戦時體制下に於て計りでなく、平時でさへも緊要なことであります。

近來頓に喧傳されて参りました住宅營團とか集團住宅に、又は官公舎、社宅街等に於いて共同農園附と云つて、建坪に對する約四〇%以上の空地を割愛し之れに主として野菜作りを自由

に行はしめることの出来る組織計畫のものが續々其の緒に就きかけて來つゝある情勢は、如何に自給が肝要であり、隣保組織下にある現時の我國の體制に、更に加へて相互融和と云ふ問題にも直接觸れ、此上ない近代的の施設であるとして絶讃を博しつゝあるものであります。即ち亦、狭い畑を持つてゐることによつて、少しも無駄をしないで済むことをも知ります。即ち灰類は加里肥料として落葉、或は庖厨の残滓等は一定の場所に堆積し腐熟後は好個の窒素及び磷酸肥料として直接に用ひて有効であり、同時に屋敷内を清潔に保つ事になり、塵芥箱は全く不要となりませう、下肥等は薄めて盛んに用ひて下さい、科學の前には不潔なもの皆無となりませう。

最後に一年の計は元旦にありの警句の通り、今年中の野菜栽培に就ての計畫は宜しく一月に熟慮考案設計されねばなりません、これは玄人素人の別なく、作付面積、勞力、資材其の他の諸點を第一義とし、或は地味土質の状態にまで思を致し豫め立案して置くことは最も肝要であります、況んや今月は畑も庭苑も最も閑散時であるに、爐邊で家族が打ち談じつゝ實際問題に即した設計を巡らすことも又とない楽しみなものであります、子供達の發案も豫想外に成功する結果を生むことは尠くありません、これこそ一家一致、一家團樂と云ふことになるのではないでせうか。

左に大體の基本體を示しその概念を拵へて見ました。

季節別による栽培の種類





借今月の主なる菜園と庭木の手入れの概略を述べて見ることに致しませう。

菜園今月の手入

普通栽培の場合、蒔付ける種類はありません、然し上旬に豫め仕立て、置かれた夏用キャベツ、花椰菜の苗は各々二尺平方に一株の割合に定植し、玉葱苗は三尺畝に三條植えとし、五寸株間に植付けます、何れも堆肥の腐熟したものを根元に敷くと宜しい。

尚今を盛りと美事に繁る水菜、火焰菜、ホウレンサウ、大根類、蕪、牛蒡、リーキ、白菜、ニンジン、シュンギク等には時々薄い下肥の類を與へます、冬期は私共の想像以上に土質が乾燥するものですから、冬の灌水、施肥は大切な行事となつて居るのです、又菜豆、ソラマメ、秋田豌豆とか、イチゴ畑には冬尙雑草が蔓延しますから、暖い日和には除草と中耕を是非勵行致し度いものです。

蒿草、セルリー、パセリー等の生食野菜には油粕、或は鶏糞を追肥して作られる様に御薦めします。

庭木其他の手入

大霜の間はなるべく苑内に足を踏入ることを差控えませう、之が爲には前月中旬に生垣とか、芝生の手入を済して置くことです、折角美事なお庭の苔も矢鱈に歩くことによつて傷められることがあります、斯の敷松葉とて松の落葉をお庭一面に薄く敷き均すことはこの霜柱の豫防と、大切な苔の保護に役立つためです、今月から俗に謂ふ寒肥を與へて宜しい、油粕か骨粉の入手が出来れば理想的なのですが、下肥で尙愁を申せば之れに過磷酸石灰の少量を加へたものを、庭木の幹から相當離して輪状に浅く溝を掘り施肥され直ちに土を覆つて置くのです、植込みのものは全面を軽く耕起し一面に液肥を與へると實に結構で松には殊に薄いものが望ましいです、雪の深い地方に於きましては枝



お正月用として調法な千筋菜

本種は水菜(京都)、京菜(東京)、終菜(大阪)と所に依つて名稱が違つてゐませう、早生中生及び晩生の三種あり、八―九月の候苗床に播種育苗して、九月上旬から十二月中本畑に定植、十月から翌年三月頃迄に随時收穫します。

生育中は特に灌水と施肥を潤澤に與へて欲しいものです。

折豫防に留意し大雪の時は枝の損傷しない様に大枝を叩いて雪落しを行つて下さい、松、ヒノキ、クスノキ、サンゴジュ等の常緑樹、又は竹などの傷み易いものから揺り落すことです。各樹木に附着してゐます養蟲の繭とか、イラムシの卵などは発見次第捕殺し、之れを鶏又は小鳥の飼料に利用します。

序ながら茲に少しく農具のことを述べて置きませう。

即ち次に掲げますものゝ内幾部分でも揃へて置きますことは能率上許りでなしに、身輕に作業が出来て大層好都合です、簡易な道具でも便利よく整頓して置きます事は、楽しく操作が出来ると云ふ結果になるのであります。

- 1、如露、細い種子蒔の際用ひます。
- 2、ナイフ
- 3、植木鋏と剪定鋏でお庭の手入には欲しいものの一つです。
- 4、移植鋏、苗の植ゑ替に使ひます。
- 5、稍専門的になります。霧吹きに用ひるもの。
- 6、土篩ひの種々。
- 7、害蟲驅除の際木灰、硫黄粉末等を混じたものを撒布する道具。
- 8、病害蟲防除に欲しい噴霧器。
- 9、地均しに使ひますレーキ。
- 10、鋤、畑の耕作に缺くことの出来ないもの。

- 11、種子を蒔きつける際に用ひる筋を切る農具。
 - 12、庭木、生垣の刈込に使用の両手刈込鋏。
- 以上の他水桶、手鎌、箒などの用意があれば何かと便利です。

正月は全く文字通り平安の裡に家族一同緊張して庭苑の行事に終始出来た事は心秘に愉快に思つてゐます。洵に皇軍の威武の下吾々は今や世界一の國體を彌が上にも永劫に堅持すること一刻も忘れてはならない氣持で一杯で居ります。體位の向上と食糧増産の一助として、將又趣味の涵養から年々園藝の技術も上進したことを語り合ふことを幸だと思つてゐます。

聖護院大根の收穫

八月下旬畑に直播、二―三回間引施肥等の手入を行ひ大抵十月中旬に採收を終るものです、然し遅く迄畑に置く際は深く土



寄せし防寒をして下さい、凍結のため腐敗するからです、本種は主として煮食用として特に結構であります

二月の
擬今月の
=野菜畑=を見渡すと今尙葱、蒨草、人參、大根、蕪、京菜、唐菜小松菜、廿日大根、牛蒡等の收穫は何れも日々大變重寶にして居ります。冬セルリーも新聞紙で包んで軟白を兼ね保護してありますので時々食膳に供します。老人は此冬セルリーを食すと胃の具合が良いと言ひ、最初

擬今月の

私に目下球莖苣(タマチンヤ)を此のフレイム内で大切に育ててゐます。

持前の異臭による小言も何處へやら近頃は鹽をつけて生食することを楽しんでゐる始末です。好評なので四月上旬の播種期には横濱の植木會社(横濱市中村町)からホワイトブルーム(早生矮生莖雪白)チャイアント、バスカル(長大種青莖にても柔軟)ゴールデン、セルフ、プランチング(早生中形黄白種)ゴールデン、ブルーム(早生中形莖黄白種)等を取り寄せ更に種々調理法をも案じ度いと思つてゐます。其の他子持甘藍、木立花椰菜とか、秋多用花椰菜等をも試作することを計畫の内に今から楽しみでなりません。挿圖の様な簡単な霜除の下には青々とした秋蒔の玉チンヤが澤山作つてありますので、時々採取し其新鮮な風味は何時でも絶讃を博してゐます。追々栽培のコツが判つて來ましたので四月上旬には春蒔種を求め縮緬葉のもの、濃綠色或は淡緑種等品種物を少し宛作り良いサラダを採り度いと力んでゐます。何分播種後一―二ヶ月で早くも採取が出来る速成品です。畑作業の方では採取後の空地が相當出來ますので別圃に假植してある頭葱、甘藍、花椰菜を定植し又蒨草、葉蕪、時無大根、唐シヤをも蒔く準備を進めます。殊にホウレンサウは一晩屋内で水に浸し十分水を吸はせ木灰と混じてから、翌日蒔くと良く發芽するものであります。又此



私は目下球莖苣(タマチンヤ)を此のフレイム内で大切に育ててゐます。



三、二例除霜な易簡

蘇鐵の株に藁で儲へた冬帽子にも格別な眺めがあります、お庭で採れたネズミモチ、カラタチは生垣用に、ナンキンハゼ、ナツツバキ、クスノキ、ハマハンノキ、ナラ、ナギ、モクコク、ハゼ、トベラ等々の種實は庭木用に採集して育苗しますことによつて、自然風のよい庭木を養成するこ

とが出来て又嬉しいのです。

竹林の掃除をも此の冬の比較的閑散期に済ませて置くとは都合が宜しい。即ち、枯れた竹稈を下から剪除し溝を浚へ、牛馬糞の類を十分施與して置くことです。籬とか藤棚の修繕等も致しませう。

又挿木するには今月の下旬から行はれて差支ありません、即ちレンギョウ、スズカケノキ、ドロノキ、ザクロ、サルスベリ、オホヤマレンゲ、クチナシ、ツゲ、ハコネウツギ、ヤナギ等が挙げられます。藤は此期の所謂樹液の動かない時季に適宜剪定を行ひますと、美事な花を咲

く結果となり、藤の肥料は花が終つてから與へます。

一般に落葉樹は今月中に、常緑樹は三月上旬から夫々移植を行ふことになつて居ります。

＝花壇＝近來花黨から野菜黨に轉換された向も多い様ですが、子供達には何うしても草花が歓迎される様です、大袈裟の様ですが、時局下寸尺の國土をも無駄せぬ様にとの



藤に咲いた山茶花の一枝

心掛けから餘地には草花の少々位は欲しいものです。簡単な霜除の下には既に華麗な三色堇、オキザリス、雛菊、水仙花も咲き綻びて徐々に冬眠から蘇りつゝある感を深めまして戦時家庭生活の上になかなか鬱陶氣を漂せて居りませう。温室の設けでもあれば各種ユリ、カーネーション、バラ、フリージア、アマリリス、スキートビーに加へて洋蘭のシプリベデュームの品種物を筆頭にシンピデューム、カトレア、マスデバリア、カラッセ、ミルトニア、早咲デンドロビユーム等多士済々の名花揃ひで彩られ全く明粧讚春の序曲を繰り擲げてゐませう。斯様な美し

い眺めも凡て管理者の周到巧緻なる植物愛から生れるもので大事に育てます時には、必ず作物は豫想以上に私共に報ひてくれるものです、餘暇の許す限り私等は庭苑に出て無言の植物を愛撫致しませう。

三月の巻

春だ、お庭のオヲバコ、ヨモギ、ハコベの新芽は目立って青味を増し、今月に入ってから急にお庭一面は冬の様相を變貌して参りました。永い冬眠から醒めた樹々草々は蘇つたかのように見えてお庭の手入の仕甲斐もある月です。私共一家は今月を期して大詔奉戴日である八日には一般行事を行ふは勿論、必ず早起を勵行し、朝か夕方の一―二時間を割き庭苑手入の爲に協力することを申合せました。即ち専ら雑草の除外、落葉の清掃、害虫の捕殺を主としたもので、我等の庭苑は充實し食糧増産に拍車を加へた事になり一同の張切り方は凄いいもので春の彼岸を控えて菜園も多忙です、今月の行事として

〔菜園〕 先づ先月に収穫しました野菜の跡地は、長い刃先の備中鍬で十分深く耕し、畝を立て、



節成胡瓜の温室栽培

今年には花卉温室を利用して、胡瓜を作つて見

ました、
品種は針
ヶ谷節成
目黒節成
、三枚目
節成、毛
馬種があ
ります、
二月蒔は
六月頃、
十二月蒔
は二三月
頃採收出
來ます。



くぎなひ

之れに白菜、萵蒿、菜豆ロングフェロー種、杓子菜、ホウレンサウ、二十日大根、落花生、時無大根、四十日大根、夏用蕪の代用品種である、今市小蕪、近江小蕪、夏用ニンジンとして三寸人蔘、冬用牛蒡、瀧ノ川種、火焰菜(ビート)の種子を播きます。尚空閑地をも集約に用ひまして更に夏秋用馬鈴薯である男爵薯、ホワイトシテイ、アーリーローズ等から適宜に選擇して植えます。即ち一個を二―三個に切り、切口に藁灰を塗抹し三寸位の深さに二尺前後の間隔を保たせ、發芽後は二―三本の枝を残し他は撤去するものです。斯くして六月中旬から七月に亘る採收期の約二十日前頃に摘心して置くのです。其間時々土寄せ、追肥等の手入を行います。一反歩の植付標準量は凡そ四〇貫と成つてゐます。

用の甘藍を蒔きます。殊に甘藍はサクセツションにオータムキングの兩種を蒔く積りです。一反歩の播種量は約五勺となつて居ります。亦之れも青味として重寶します洋芹(パースレー)別名和蘭芹も此の冷床に蒔きつけて宜しい、本種は從來から爽快な特有の芳香の新鮮葉を生食



水 仙

次に隼人瓜の種瓜を求め冷床で鉢植として發芽せしめ、五月上旬畑に植込む豫定です。本種は盛夏には餘り伸びず六尺位ですが、秋風と共に急に伸長力を増します故、豫め高さ五尺以上の棚を設け三坪位の面積一杯に蔓るものです。極めて豊産で一顆良く百個以上を結實する強健振りです。多年性の蔓草ですが一年草として取扱ひ、毎年春一―二個を栽培すると冬の漬物、味噌漬用等に至便です。尙春暖と共に昨年末施設した各種野菜畑の霜除を取除き十分陽光に晒し強く仕立てませう。玉葱畑は中耕除草に併行して腐熟馬糞、堆肥の類を株許に敷き乾燥を防ぎます。冬野菜には灌水を兼ねて一週間一度位は是非稀釋液肥を施しませう。

〔フレイム、温室〕 外温を檢べて室内の換氣に注意し、晴天の日には十分陽光に當る様に努めます。シネラリヤ

西洋サクラ草等はフレームから温室の収容量を考へて入室し開花促成を図ります。

〔庭木〕 挿木する種類を挙げますとバラ、夾竹桃、おぼばい、まさき、くちなし、なんてん、いぶき、ポプラ、いちぢく、ちんちよろげ、さざんか、もち等があり、實生するものに、かし、しで、くす、しやりんばい、なんきん、はぜ、もち、もつこく等秋に熟した種子は早速苗床を造り蒔きます。樹木の種子蒔は甚だ長年月を要する様に考へる向もありませうが、知らない内に成木となり良い記念木として、見事な緑蔭を作ることが出来るものです。

お庭の蔭地に植えます爲に、休日家族づれでハイキングをします場合に、次の様なシダを採集して來ることにしました。春の芽立ちは何とも云へない野趣に充されますので、羊齒園の一部に慥へ度いとさへ思つてゐる位です。石垣とか、垣根の下草に或は手水鉢附近に群植しても風情深い眺めを作ります。即ちリヨウメンシダ、ジュウモンチシダ、オシダ、ベニシダ、イノデ等何れも近郊に自生する野生種です。



群花美の蓮木白るげ告を春陽

支那原産の落葉喬木樹高二十尺餘、移植期は秋、本種に酷似せるものにシモクレン、サラサレンゲ、ホウノギ、コブシなどあり、何れも庭苑に栽植せられ美花を賞します。

〔養鶏〕 過般吾が家の土曜日の爐邊談話で急に養鶏を始めることに決しましたので、二月中旬旬親鳥と種卵を求めて目下熱心に抱卵をさせてゐます。約二十日で孵化しますから來月號に雛鳥を寫眞で御目見得するのを楽しみにしてゐる所です。巢鳥は名古屋コーチンですが、種卵はレグホンと名古屋コーチン、三河種の各雜種を採りました。家庭用には卵肉兼用種が良いと思ひます。然し成績次第でパフコーチン、ミノルカ、ブリモスロツク、ロード・アイルランド、レッド、レグホンを飼ひ度いのです。抱卵の要領は先づお米などを入れるフゴに切藁を半ば位充し、更に三尺四方位の藁を凹字形に敷き、是れに種卵十五個を置き暖い納家に入れ親鳥に近づけますと巢鳥は大急ぎで抱き初めました。親鳥が肥大して居れば二十個位抱かせて差支ありません。時々卵を嘴でクル／＼と反轉させる音がしてゐます。毎日暖いお晝には勿體ない氣もしますが、玄米二握位に青菜を細く刻んだものを添へ水を與へます。此際靜かに親鳥を抱へて食飼につけるので、食後脱糞して又卵を抱くことが彼女の日課となつてゐます。卵はダン／＼軽くなつて來たものは必ず孵化しますが、水の様にチャブ／＼するものは無精卵ですから早く取除けて下さい。

孵化直後は卵殻を取除き一―二日後初めて雛に餌を與へるのです。この餌は小米と青菜と魚粕が宜しい、卵を抱いてゐる間に雛のトヤを慥へて置きます。石油箱を横にしたものですが次號の挿圖を参考として製作して頂きませう。今來月は卵を抱かせる好期です。近頃中雛を分讓してゐる向もありますが、大抵電氣カ瓦斯で孵化した鳥ですから寒さのため三月中は初心者の方は飼育が困難です。自然孵化のものは斷然丈夫ですから面白い様に元氣に育ち秋には既に産卵致します。今月から御試みになつては如何ですか。

四月の巻

此の月は文字通り春霧模糊として四山正に雲霧たる時で、四季の内畑造り、庭いぢりに最も楽しい行事を持つ月であります。一度庭に歩を進めればヒヤシンス、西洋水仙、金盞花の草花類に、ヂンチョウゲ、リラ、椿、海棠、櫻、藤連翹、木瓜、白木蓮、ニハウメ、アンズ、雪柳、ドウダンの美花に観衆の賞讃を博するものがあります。

丹精した畑を一瞥すれば葉玉葱、根三葉、アスパラガス、ウド、葉山藪、春福大根、フダンナ、玉チシヤ、新蠶豆に加へて莢豌豆の實る眺めは全く花に劣らぬ風景で正しく日頃の勞苦の酬ひられた心地がします。一方寸暇を割いてこれから蒔く野菜に花と各種の種子を求めものも嬉しいものです。今年には昨年雨が多かつた関係と更に家庭園藝家の激増で種子が拂底して



第一輪大咲ラパルツの麗容



今月の床間を飾る東六舎鶏 春蘭一徑九花の盆養

困難でせう。

〔野菜畑〕 冷床には玉蜀黍、菜豆、枝豆、刀豆、秋用甘藍、花椰菜、葱、リーキー（西洋葱）紫蘇等を蒔きます。尙単人瓜を植付けたり、セルリー、パーセリ、コールラビー、（蕪甘藍）なども蒔きます。今年にはセルリーを横濱植木會社から（一月の巻参照）四種を取り蒔くことにしてゐます、他下旬にビート（火焰菜）とて廿日大根同様短時期に生長する根菜類をも蒔きます、本種は肉質柔軟、甘味あり、外觀近江緋蕪

居る由です
から、早い
目に種子を
整へて置く
積りです、
殊に直接食
品として役
立つ豆類、
芋類、ゴマ
等が入手に

今年の冬は寒さも順調で吾々が五月の蟲とりと花後の施肥を勉強した甲斐があつてか見事な満開振りなので十五日頃自園産の野菜料理で櫻花を讃へる小宴を楽しみます。



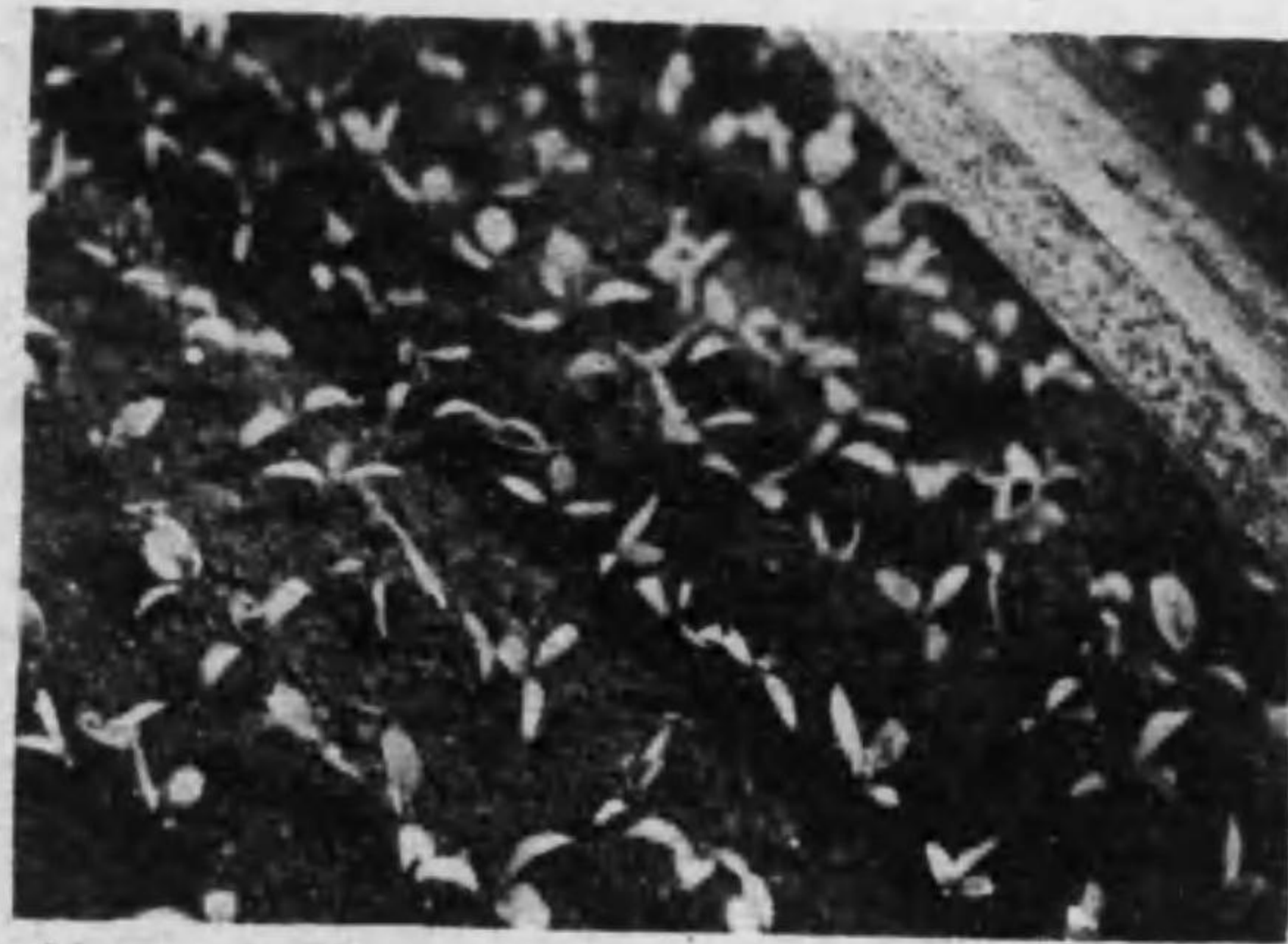


うせまみ込鋤を肥堆に肥基の子茄

に諺と「れ作土はにる作菜野 れ造人はにる作を金」
 先 ばへ思とんせ産生に手上を物作 に様すまりあもの
 的目のこ んせまりなばねら掛てしく良を土の畑づ
 とこす施でしと肥基に常を肥腹 肥堆に畑一第はに爲
 置 糞鶏 糞馬牛は料材のこ んせまりなはてれ忘を
 時し積堆に隅一の畑を等葉落 芥残の厨庭にどな 糞
 の熟未すまみ込鋤をのもし熟腐 ひ行をし返り切々
 。すまりあがとこる蒙を害被の蟲病々往はのもの

は美事な開花を十月中續けてくれます、鶏頭の類も餘り植替へを好みませんから堅い土に同様
 直播すると好結果を得られるものです。
 バラには蚜虫が寄生しますから除蟲菊石鹼水で驅除し、粉貝殻虫の類はソイド、石灰硫黄合
 劑或はルピトール等の藥劑で驅除
 して下さい。蔓バラは蔓の伸長に
 従つて細い棕相繩で誘引し枝を束
 ねて置くことで、常に整然と支柱
 に沿はせてをくので、下旬から來
 月には美しい花束を咲かせること
 に違ひありません。花壇一帯には
 常に除草を勵行し發育に伴ひ薄い
 液肥を再三與へることを忘れては
 なりません。除草したものは一
 定場所に堆積し、鶏糞、下肥或は馬
 糞などと層々に堆積して養土の材
 料とか畑の鋤込みに供します。
 【果樹園】 桃は開花前に蚜虫と
 尺取虫の爲に除蟲菊、石鹼水を、

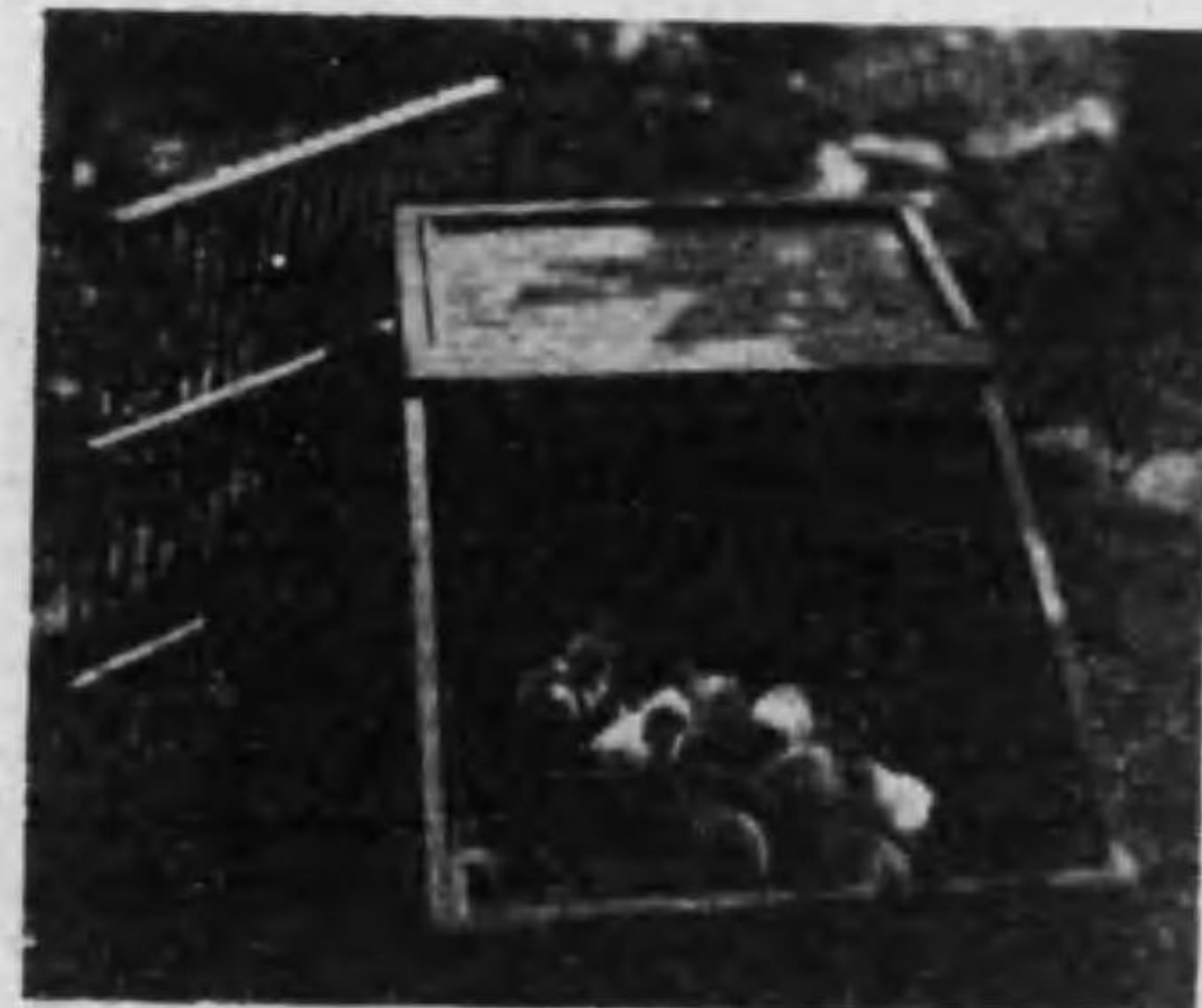
等量以上の細砂を混じお庭の踏石とか芝生の縁に直播して置きますと、毎年種子が落ちて夏に



瓜類の第一回移植

先も引間又 すまえ植に度程いなれ觸相がと葉と葉は植移の回一第
 いき大の(レワイカ)折甲 いますまりあ支差てれば行に隔間のこづ
 のこはてしまき於にどな瓜越 瓜胡 瓜糸金 瓜糸 瓜南ばへ例類種
 。すまへ考と柄事く置てし知承もとこるす植移てへ揃を向方の折甲

夫々花壇に定植し、草丈の高いものを後
 に、低い種類は日蔭にならぬ様に前方に植
 え出すので、土地を集約的に用ふる爲に一
 回の移植で第二回目には定植することにし
 てゐます。雁來紅、松葉牡丹の如き種類は



生が鶏難いしら愛可らか卵たせか抱月先
 に雛てい突を餌に命懸が鳥親。たしまれ
 。うせまるてせさべ噴

又落花後は縮葉病其他の病害豫防として石灰硫黄合剤の〇・二度液を撒布し、尙第一回の摘果を行ふのです。柿は未だ移植して差支ありません、剪定は上旬迄に済せ、接木も行ひます。葡萄は卷蔓を摘除し房と幼果の間引が主なる仕事となつてゐます。梅、イチジクも適宜果實を間引いた方が宜しい。總て果樹は發芽前に夫々病虫害の豫防藥劑を撒布しましたが今月以後は各種病虫害の繁殖期となりますから軟弱なる枝葉に藥害のない様、留意しつゝその當初に適當なる藥劑を撒布することが肝要です。又雜草は小さい内に根を残さず丁寧に全園を淺く掻き均すことが必要であります。この操作は常に園圃を清潔に保つ計りでなしに乾燥を防ぎ、且つ土中への空氣の流入を助け、根の成長を促進する結果となるのであります。

〔養鶏〕 前月自然孵化した雛鳥であれば寒さのために死ぬことは先づありません、第一毛の艶が違ひます、全く金銀色に光つて居りませう。この箱が少さくなり親鳥の羽の下に這入りきれなくなつた頃の今月末には親を放して普通に飼育されて宜しい。良くしたもので四〇―五〇日も過ぎると自然に離育を五月蠅がるものです、この親鳥も一ヶ月後には又大抵産卵を始めます。

今月に入れば鶏舎の防風、防寒の設備を取去り常に清水を與へ、時折果樹園等の耕起した畑に放餌し害虫を啄食させ、又新生の雜草を嗜食せしめ、飼料の不足を補ふ様に致しませう、石灰質物が不足しますと土を、攪拌することが甚だしいですから、適宜に牡蠣殻の碎いたもの、或は炭酸石灰、磷酸石灰に少量の鹽を混入して與へます。

床の不潔と通風の不良は鶏の健康に最も有害ですから、常に此點に留意します、菜、米糠、

枇(ミヨサ)に魚粕を最も好みますが、飼料難の今日麥糠、若草を主とし、庖厨の魚貝を煮て食せしめる様に勉め度いものです、尙落葉、葉、雜草等の腐敗した所謂有機物をも好みますから時々與へる様にされ度いのです。左に飼育標準數を示しますと

成鶏一坪(三、三平方米)の收容數

白色レグホン種 七一〇羽

名古屋コーチン種 一〇一―一五羽

〔觀賞木〕 觀賞木を山野で採取し栽培することも洵に趣味深いものです、シヤクナゲ、楓類、アオキ、ノバラ、ヤマナシ、ツルウメモドキ、ユズリハ、マツ、イボク、トチ、サカキ、マキ、カラマツ等凡て採取して培養するに好期です。樹木に限らず數寄者に伴はれ胴藍を掛けて山野に各種シダ類、コケリンダウ、シヤウシヤウバカマ、ヤブコウジ、節分草等々各種の野草を蒐め盆養に或は下草に庭の一隅を利用して植込めば懐しい思出ともなり、一層趣味の涵養を深めるものであります。

五月の巻

閑雲を凌がんとする陽氣、萬物一齊に生長進軍を開始し葉櫻初め新緑正に酣、庭苑漫步の好季全く園藝シーズンであります。一步お庭を覗けば草花類では晚咲チユリツブ、匂アラセイトウ、勿忘草、霞草、小田巻草、仙台萩等、庭木の藤、平戸ツツジ、柘榴、こでまり、こぶし、山吹、すずかけ、さんざしの美花に酔ひ、水邊には猿猴草、かきつ、あやめ、めやなぎに早や水を慕ふ氣候となりました。

又野菜畑にも花に優るとも劣らない收穫品の數々を見る嬉しい多忙の月であります。即ち爽緑に乗る味覺の王、草莓の登場で子供達は毎日大満悦です。先月おいしく食膳を賑はせた絹莢も既に其の若實を使ふので變つた調理に食慾を唆る他、春蒔ホウレンサウ、シュンギク、フダンサウ、フキ、ミツバ、春用花椰菜、朝鮮あざみ、新ソラマメ、時無大根、四十日大根、夏用新牛蒡、葉王葱(四月から六月の葱缺乏期に球の小さいものを葉と一緒に收穫し葱の代用に供するもの)、ワケギ、ウド、玉チンヤ等が擧げられます。絶好の園藝季節だけに今月の行事も一入多忙を告げるのですが、夫だけ愉快に趣味深く又心楽しい運動ともなり終日園裡に没頭する事が出来ます。

〔野菜畑〕 苗床にはオクラ、ヘチマ、玉蜀黍、葱、カキジヤ、トマト、甘藍、木立花椰菜、蕃藷、パセリーを蒔いて苗を養ひます他、本畑に直播する種類に次の様なものが重寶で

す。即ちミツバ、落花生、蔓性菜豆、フジマメ、ゴボウ、子持甘藍、シソ、夏大根、ニンジン、夏蕪(寄居蕪がよろしい)ピート(火焰菜)、白菜(山東、朝鮮、愛知、雪白各種)、枝豆、ササゲ等から選んで随時下種します。

殊に昨年好評だつた球莖甘藍を箱蒔きとし、發芽後二回移植、播種後六週間位になつた苗を本畑に定植し、爾後約二ヶ月足らずで球の徑二、三寸の柔軟な時季に採取します、其の風味はカブラに似てゐますが、齒ギレ良く洵に美味です、秋蒔も行ひますが早く蒔が立ちますから此の季節が宜しい、八ッ頭唐芋等の種芋が入手出来れば今月夙くに餘り乾燥しない場所に植えます。借今月は何んと云つても何處とも茄子、胡瓜、トマト、南瓜の定植が行はれる事で寧ろ苗の拂底が懸念されます。

能く整備された私の菜園展望



部は花卉の苗床となつてゐます、茄子、胡瓜、トマトなどは既に定植を済し、甘藷、シヨウガ甘藍、蕎麥豆、枝豆、里芋類も植込まれる他、桃、枇杷、イチヂク、葡萄の收穫期も近づきました。



振枝 かと類種い悪し下の根 法木取
ひ行にとな合場たけ付見を木樹い良のり
に度程るす達に質木所ヶーもれ是。すま
たし充を土 か苔水り取き剥位寸一を皮
たれ現分十が根 き置てつ縛てい巻を鉢
。すまりあでのる取り切らか幹主に頃

のです、施肥の回数は一割で約三―四回とし乾燥する畑では敷草を施して下さい。トマトも茄子同様青枯病、立枯病の他に黒斑病、縮葉病等が寄生しますから、クポイド又は王銅を度々撒布し豫防に努めます。黄顆種のゴールドデン・ボンデローサ、ゴールドデン・クキン等は比較的之等の病害に對する抵抗力が強い様です。

〔胡瓜〕 風薫る新緑の候から残暑酷しい初秋に亘つて毎日の様に無くては淋しい氣さへするこの胡瓜も、庭に數本あるだけで新鮮なものを相當數量提供し食卓を賑はせてくれます、自分で培つただけに其味も又格別なものがあ、三伏の炎暑も欣然として凌がれると云ふものでせう。

先づ畝は三尺、株間二尺位とし、定植する畑は牛馬糞、堆肥を耕込み深耕し、畝立て後中央部に一鉄幅の溝を造り、之れに下肥を流し、定植後胡瓜が早速肥料を吸収し得る様にして置くと成長が著しく順調です。トマト同様に定植と同時に長い支柱を建て、伸長に従つて藁などで誘

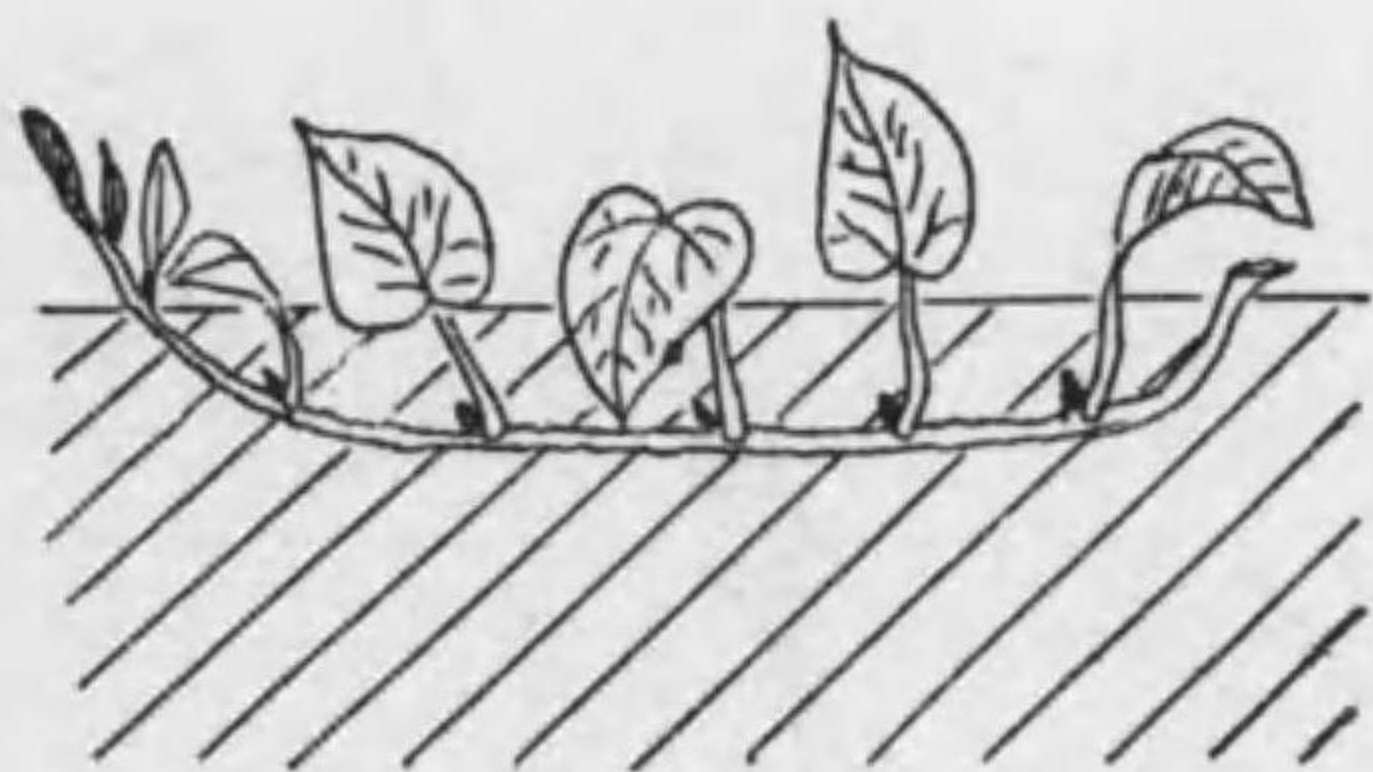
引結束して參ります、六月上旬から八月下旬まで收穫が出來ますが、梅雨期頃胡瓜の大敵露菌病が盛んに發生し始めますから、定植一週間後位から週に一回位宛必ずクポイド液(クポイド十二匁、水一斗)を撒布します。又ウリバイは早朝捕殺しアブラムシには除虫菊石鹼水(除虫菊二匁、石鹼二匁、水一升)を灌木驅除し常に葉を大切にすれば難なく栽培出來るものです、胡瓜は瓜を作るより先づ葉を作る事です。

〔さつまいも〕 甘藷は酸性土に對する抵抗力強く、乾燥地にも耐へる極く頑丈な作物だけに素人方にも無造作な取扱で、割合見事な成果を擧げてくれるものであります。品種は普通赤源氏とて外皮朱赤色を帯びるものと、白源氏と呼ばれる淡赤の品種から選ばれて良く兩者共中生で貯藏にも堪へる優良種、この他關西地方で廣く作られ

變 鶏 先月のヒヨコも寫眞の如く成長しました。雄鶏は下旬頃去勢しますと一層肥育が早く、且つ肉も實に結構です。この方法は兩脚と兩翼を縛り上げて共に結びつけ、肋骨の最下部の箇所を切開し、丁度背中の中央部の位置に米粒大の白いもの二個を發見しますから針金で輪



を作つたものとか手で引き寄せ切り取ります。輸精管が太く發達してをれば細糸で締め縛つてから墨丸を切り取る様にして下さい。初心者は切開の際肉を切り過ぎ出血多量で致死せしめることがありますから、血管を誤つて切らないことが肝心です。手術後は單に糸で一寸縫合するだけで宜しい、但し手術前一兩日は絶食せしめて置かねばなりません。



芋の植方要領

す、只甘諸栽培で一番の大敵は黒斑病で健全な苗を入手することが肝要であります。右の他開墾地等には南瓜、扁蒲、チヨロギ、百合根、燕麦、豆類、玉蜀黍、落花生を植えて土地の利用に努めませう。瘠地には前記の外甘諸、冬瓜、菊芋、セルリー、ラツキヨの苗を夫々植えて好成绩が収められます。收穫期の近い玉葱には中耕を一―二回行ひ、球莖が地上に露出してゐるものは土寄をします、抽藪とて花が上つて来たものは其儘採取して葉玉葱として食用に

てゐる四十日種があります。芋の兩端尖り浅くて廣い縦溝があり、性質強健貯蔵力強く、且つ豊産であります。甜味に乏しい憾みがあります。甘諸にはこの他琉球、八幡或は川越種等の他に甘種餘りにも眷屬があるのには驚かされます。備て挿枝を本月上旬に植込み十月下旬頃收穫するのです。栽培の大意を申しますと、挿枝を用意の畝に夕方植えます、畦は數日前深耕し、堆肥の類を鋤き入れ成るべく高畦とします、株間は一尺五寸位とし縦に溝を作り、之れに一尺五寸位の挿枝を挿圖の様に平行に植え先端を二三寸地上に現し一寸位に覆土して置くので、この場合挿枝の葉は全部地表に現して置きます、施肥は基肥を主とし追肥としては、蔓が二尺位伸長した頃一回薄い下肥を用ひる程度で過用すると葉蔓が徒長繁茂し過ぎ却つて收量を減する計りでなしに、水分が多くて貯蔵に堪へない芋が出来ま

供します、盛んに成長してゐる馬鈴薯は側芽、花蕾を摘去し尙土寄せ、施肥を済ませて下さい。尙春の雜草で實の結ばないものは除草を勵行して堆肥の材料とし常に畑を綺麗に整地して置くことが大事です、收穫後の畑は深耕し上記の苗か種子を蒔いて集約的に土地を利用することに留意します。

盛土法（壓條法）ボケ、ウツギ、サツキ其他小枝の張る樹木の株上を圖の様に土を盛つて置くと各枝から根を出し一人前の苗を作り上ることが出来る簡単な増殖の仕方を示しました。



〔花壇〕 ダリア、カンナの球根を植込み、睡蓮の根分けも今月の行事です、春咲の各種球根類の花の終つたものは、葉を残して花殻を摘み取り根に養分を貯へる様にします、上旬には朝顔の種子を鉢に蒔き正月用の葉牡丹も蒔きます、先月蒔いた草花種子が續々發芽したものは適當に移植、間引を遂げ下旬頃花壇に草丈、花色を考へて定植する積りです。

〔庭木〕 生垣の新梢の出揃つた所を刈込鋏で一様に剪枝を行ひ、下肥の類を各種の花木類と一緒に施肥して置きます。アブラムシ、イラムシ、毛虫、貝殻虫等には夫々早期に驅除し私のお庭には害虫と雜草の居ないのを自慢にしたものです。挿木するものに蔦、貝塚伊吹、バラ、キヤラ等先月から今月にかけて泰山木、カシ、クス其の他の凋葉樹葉が夥しくて掃除に忙しいでせうが、何時も之等の落葉

は各樹の株許に置き決して掃き取らない様にします、お庭の落葉は亂雑にさへなつてゐなければ決して見苦しい眺とはなりません、土地から取つた養分は其土地に返す様に心掛けませう。

〔養鶏〕 飼育に申分のない時候ですから事情が叶へば出来る限り放飼すると成長も早いでしょう、舎飼のものは寄生虫が発生し易いですから清潔を旨とし、田螺其他の動物質飼料を與へ營養を採る事が大切です。成鶏中、雄が居れば處分し無精卵として産卵せしめ冷涼な場所に貯藏すれば、優に二ヶ月位は卵の貯藏が可能ですから、夏の卵の勘い季節に非常に役立ちます、猶夏の日蔭用のために鶏舎、運動場にヘチマ、ナンキン、ハヤトウリの蔓を這せませ、最後に雛又は中雛には猫、野犬等を近寄せる事は禁物で、之等の被害を受け假令命に別條はなくとも發育が大層遅れますから、常に注意を怠つてはなりません。

六月の巻

時季は梅雨、連日の鬱陶しい霖雨の糸は梅の實黄ばみ、青葉滴る蔭に玉を浮ばせる風韻は、園藝生活の醍醐味とも謂へませうか。外温愈々上昇し湿度又多い結果、諸作物庭樹の生育振りはこゝを先途と懸命な努力を續けるため、新陳代謝も極めて著しい結果、この機を逃さず中耕除草に、施肥に、或は病虫害の防除等に全く忙しい月であります。先づ第一野菜園を覗いて今月の行程を考へ、次の様な計畫を樹てました、偕て今月の收穫品としては、夏用大根（時無、四十日早生）夏用人參（三寸種）牛蒡（瀧ノ川）馬鈴薯、タマネギ、ラツキヨ（三年目）、早生南瓜、早熟枝豆、メウガ、春蒔チシヤ、カキチシヤ、早生甘藍、春蒔ホウレンサウ、フキ、春蒔フダンサウ、紫蘇、花椰菜、春用豌豆、ツルナ、ソラマメ、インゲン、夏白菜の他に先月定植した胡瓜も茄子も上旬には第一回の收穫を見るに至りませう、又子供達御註文のオランダ苺も切藁の座蒲團の上で眞赤な漿果は、前月に引續いて尙食膳を賑はせて居り、過ぐる日の勞苦を偲んで味ふも又格別の風味を増すと云ふものです。

次に畑仕事の手順も考へて置きませう、第一に今月蒔くものには冬葱として千住葱或は九條葱があります。種子は床播し一―二回移植の後九月上旬の定植前に十日間位十分乾燥するので、この他、大豆、小豆類、胡麻、木立花椰菜、キビ、粟、ソバ、細牛蒡、秋胡瓜、秋トマト、夏用大根（時無、四十日早生）、ミツバ、夏用蕪（今市小蕪、近江種）に火焰菜、夏用白菜（朝鮮



然彩多てめ極に上の葉の狀掌るあ澤光 頃見藥芍
苑く汎てしと用栽境 り計い眩は委花な麗も
を株たけつを芽六一五秋。すまるてれら作に裡
。すまひ行を分株回一に目年四一三 え植てめ求
を肥液回三兩り去り切をけた首花 速早は後花
。すま來出がとこるす賞觀を花美年毎て度程す施

が發生縮葉せしめますから、石鹼水或は除虫菊水等で驅除を行ふこと、早生枇杷は下旬から採收出來ませうから、收穫後は病果、若しくは袋を片付け園圃を清潔に保ちます。葡萄は芽かきを行ひ袋掛けと間引を濟ませう。柿は摘果後大敵蒂虫の被害を避けるため必ず澁袋かけを致し度いものです。各果樹共乾燥に失せしめない様に敷草を施すとか、常に中耕を行ひ之を防いで下さい。作物は何れの場合にも花が咲いたり果實の出來る際には、常に多量の水分を要求することを忘れてはなりません。

〔樹木の手入れ其他〕 今月は吾國特有の多

ナシ、レンギョウ、ジンチャウゲ、ツゲ、夾竹桃、サンゴジュ、伊吹各種の挿木を行ふに最も適季となつてゐます。挿木床は排水の良い場所を選び肥料分の少い砂質土が適當します、挿穂は普通三―五寸位に芽の直下から切り、是れに拇指大の玉粘土を附し乾燥を防ぎますと尙更能力よく發根するもので、俗に此法を團子挿とか玉挿と呼ばれてゐます。

この他各種樹木の姿體の崩れるものには任意に鉄を入れて整枝します。又櫻の幹に喰込んで大害を見る斯のコスカンバ虫に對しては、其被害部であるヤニを漏出して居る箇所をノミの類で切り幼虫を捕殺します、手術後は更に切口を丁寧に削り直して置けば翌春迄には綺麗に樹皮を張るものであります。お庭の彼方、此方には泰山木、ソケイトベラ、カルミヤ、ザクロ、シヤクナゲ、夏櫨、白雲木、クチナシ、バラの花盛りで迎も美しい眺めです。

千年木の鉢植 夏の室内を飾る恰好のもの、種々の品種あり、主として今月挿木で増殖を計ります、冬は暖所に保護を加へて下さい。



〔花壇〕 目下花壇には都忘れ、海芋、ストケシヤ、ギボシ、アマリリス、スキートピー、マーガレット、虞美人草等百花爛漫の景を文字通り庭一面に繰り擴げてゐる有様で、各部屋には切花の氾濫状態です。扱てさしも艶美を誇つたチュウリップ花も既に散り失せ、葉の漸く黄味を呈した頃を見計つて、梅雨前晴天の日に球根を傷めない様に掘起し十分陰乾してから、大小を區別して荒目の布袋に入れて鼠害のない天井などに吊して次の植込期である十月に備へるのであります。春蒔の各種草花苗であるサルピヤ、万壽菊、アリツサム、松葉牡丹、金蓮花、百日草、金魚草、コスモスな

どは梅雨前に夫々工夫を凝した花壇に定植を済せ、秋花壇の寵兒テランゼラは株張したもので盛んに株分を行つて其の株数を殖すことに努めるのです、斯くてこのテランゼラは九月に入り唐草模様など種々な意匠を案出、植込みに取りかゝり秋の紅葉、黄葉を鑑賞するのです。下旬にはダーリアの花蕾も抽きませうから時々グラチヲラス、モントブレヤ、ジンジャー、カナ、アマリリス等と一緒に薄い液肥を與へます、又春花壇を飾つたアルメリア、ポリアンサス、松葉菊、雛菊、香堇は株を掘り起し涼しい場所に移植しますか、厚く日覆を設けて保護しないと暑さのために屢々枯死する事があります。

〔菊〕 濕氣と高温のために徒長し易いので、軟弱なる繁茂に陥らぬやう留意させよう。先月挿芽した菊苗を鉢上げし第一回の摘蕊を行つて二―三本仕立を作ります、斯くて餘り伸び過ぎる様な場合は更に一回摘蕊して構ひません、其後は腋芽の除去に努め、下葉の保護と乾燥防止策として株許に水苔、切藁等を敷草し、時々病虫害豫防として硫酸ニコチン加用銅石鹼液を再三灌注する必要があります。大菊は今月も挿芽して差支ありません、この他懸崖用菊、小菊各種は生長に應じて六寸、七寸と鉢替を行ひます。

〔朝顔〕 夏の景物は何と云つても朝の朝顔、晝の金魚、夜の螢と云へませう、この朝顔も毎年清新な一鉢の花を眺めた時、作つて見度い氣持ちで一杯になるものです、昔から「六月一日の三枚葉」と申します通り、丁度今が稚子葉を除いて本葉三枚を出した時なのです、皆様の朝顔はこの大きに成つて居りませうか、茲で一寸盆養式の摘心法を一つ、先づ本葉が四枚現れ各腋芽が五―六分伸長した際初めて第一回の摘蕊を行ひ、内揃つた芽三本を残し一本を摘去し、

この枝が三―四枚の葉を出す頃若し花蕾を現はさねば、この蔓の第一葉から切り取ると三―四枚目の葉腋には必ず蕾が見へます故、各蔓には蕾四個とし側芽は一切摘み取り三蔓に十二輪の花を見る結果となり一番蔓は是れで終りますので、枝元から各々切り去り再度芽を吹かせ二番蔓を養成し、三番蔓まで咲かせてから鉢を抜いて株を畑に移して採種用に供する取扱ひを致します。

〔養鶏〕 梅雨に對する注意が管理の中心となつてゐます、即ち餌料の腐敗を防ぎ、常に新鮮なるものを少量宛回数多く給與するのが好ましく、室内を開放して乾燥に導き、除糞を周到に行ひ清潔を旨とし、飲水に少々鐵屑を入れ酸化鐵水として與へるとか、食慾増進のために冬期同様唐辛粉を浮かせるのも一策でせう、煉餌は腐敗し易い所から今月からは粒餌にした方が宜しいです、然しこれは消化し悪いものですから、大麥などは二―三日前水に浸すなり、一度煮ると宜しい、この事は消化を助けるのみに止らず餌料の經濟にもなるのです。

羽虫の豫防に就てはリゾール石鹼水を三〇度の熱湯で溶し之れを鶏舎は勿論運動場其他限なく噴霧器で撒布するのが最も効果的です、尙この薬は噴霧器を傷めますから使用後は良く洗つて置くことが肝要であります。

盛夏九十日を暑いとも云はず、今年も元気で家族中暮すことの出来るのは、慥に趣味に盛る家庭園藝の御蔭と毎夕餉の時に必ず語り合ふのです、近頃の様には寸尺の空地もない迄に良く利用され、剩へ昨年迄菊とかバラが作られてゐた畑もお庭も茄子とか、馬鈴薯或は豆類に變つた情景を見ても、如何に食糧増産に又體位向上の意味からも眞に結構な傾向だと思つてゐます、私共も時々之等各所の休閑地殊に野菜栽培の状況を散歩の際丁寧に見て歩くのを近來の楽しみとしてゐます、栽培されてゐる種類は大體一様な感があり、珍しい變つた種類を作つて居られる向は稀であります、これも初心者のこととて無理からぬ事で、逐次多種多様な種類の栽培を試みられるのも左程遠いことではないと考へます。然し其熱心には全く敬服してゐるので、其の成績も決して素人とは信じられない出来栄には頭が下ります、私の庭苑にも早速應用し、且つ教訓の數々の點があり直ちに實行に移し更に一段の努力を拂つてゐる次第であります。

〔野菜畑〕 偕て今月收穫出来る野菜を調べて見ますと早生南瓜、胡瓜、茄子、トマト、玉葱、葉紫蘇、秋蒔牛蒡、夏馬鈴薯、夏白菜、夏葱、夏大根、夏ニンジン、早取甘藷、火焰菜、シヨウガ、春蒔チンヤ、カキチンヤ、百合根、夏用甘藍、春蒔ホーレンサウ、春蒔フダンサウ、甜瓜、越瓜、實蠶豆、枝豆、ササゲ、玉蜀黍等賑かな限りであります、何れも丹精の結果と假令

不出來乍らも皆思出に充ちたもの揃ひであります、次に收穫後は一日も早く懇に整地し豫め用意してある堆肥を十分鋤込んで置きます、其跡地には秋胡瓜、秋越瓜、秋トマト、秋菜豆、夏大根(時無大根、四十日大根)、秋大根(美濃早生、白首宮重、聖護院種)、冬人参(金時、三寸)、ビート、夏白菜、冬用甘藍(夏蒔甘藍、野崎中生、サダヤ種)等から随時選擇して蒔きつけませう。

先づ胡瓜、越瓜は普通畦に一尺五寸乃至三尺株間に種子二―三粒を蒔き發芽後適當なものを一本を残し、直ちに支柱を與へ、越瓜は伸長するに従ひ麥藁等を敷いて置きます。トマトは鉢か、平箱に蒔き發芽後本葉を見る前に一回二―三寸間隔に密に假植し、斯くて本葉四―五枚の頃胡瓜同様夫々定植を行います、このトマト苗は九月から降霜迄採取出來て大層重寶致します。秋菜豆は普通蔓無種を用ひ

嬉しい秋蒔甘藍(夏用甘藍)の收穫



この寫眞で御目にかけてますキヤベツは昨年十月中旬箱蒔しました、品種はサクセツシヨン種です、發芽後一回二回假植し三月中旬三尺巾の畑に二尺五寸の株間に定植を済せました、其間三回下肥を與へたのです。定植後は野蠶夜

盜蟲の被害に相當悩まされましたが、アブラムシには石鹼水を灌注し、後者には早朝起き出で被害株を檢べて捕殺して小さい乍らもこの收穫を得ました、下葉の剛い大葉は山羊、豚などが喜んで嗜食するのですが、鶏は餘り好みません。

エキストラ、アーリージュン、エバードグリーン、金時菜豆が宜しい、一ヶ所二―三粒を蒔き敷草を行ふことと、本種は病害に侵され易いのでから成育中兩三回ソイド等の病害豫防剤を散布して頂きます、土質は重粘土、又は砂質土以外は良く成長します、人参は畑に條蒔とし牛蒡同様に乾かない様に切藁とか落葉を敷いて置きます、尚發芽前後は時に注意して灌水を行つて下さい、水分が不足しますと不發芽に終りませうから、葉の餘り多いのは根の發育が芳しくありません。腐植土質とか、油粕を與へたものは根の色が濃く出ます。甘藍は蒔床に一度蒔きつけ一―二回移植して九月下旬可成有機質に富んだ肥沃な畑を選んで、二尺五寸畦に一尺五寸株間に定植する手順です、育苗期が何分盛夏の候ですから、常に灌水を怠つてはなりません。

今月は病害蟲防除に多忙な月です。



前月に引續いて病蟲害の豫防驅除に最も忙しい月です、貝塚伊吹、トガ、モミ等には硫酸鉛加用ポルドー液（硫酸銅百二十斗に石灰百二十斗、水五斗に硫酸鉛百斗加用）を、胡瓜、トマトの病害にはクボイド、封度を水一石五斗液に、茄子其他の害蟲には除蟲菊石鹼水（除蟲菊二斗、石鹼二斗、水一升）を常に灌注して欲しいものです、近來適當な薬品が市販されてゐませんので病蟲害の驅除或は豫防には最も苦惱してゐる所ですが、何とか前記の代用品で極力防除陣を布いてゐる仕末です、寫眞はスイリユウヒバのズイ蟲退治の有様です。

今年の春は牛蒡、胡麻、豆類、芋

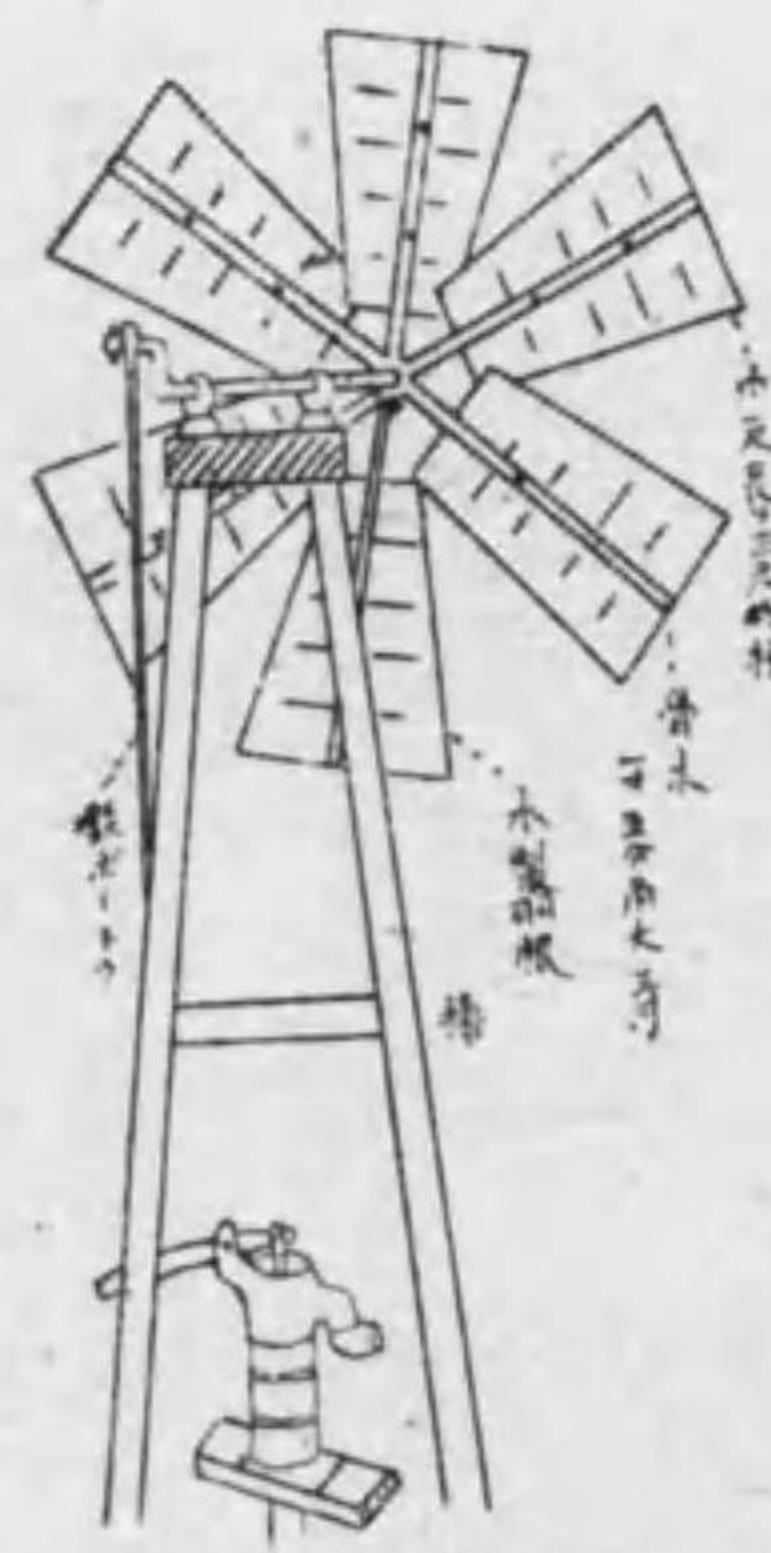
類の種苗の入手に一方ならず難澁させられましたので、前記秋蒔用蔬菜の種子は是非早くから用意して置かねばなりません、隣組、隣保で一纏めにして購買するのも良法に考へます、御近所の種子屋さんから求めることも多いですが、各種の種類を澤山取扱つてゐる左記の店の通信販賣を利用するのも楽しみなものです、例へば

- 坂田商會 横濱市西平沼町
- 瀧井種苗會社 京都市梅小路

- 横濱植木會社 横濱市中區唐澤町
- 東京農産商會 東京都蒲田區新宿
- 札幌壽園 札幌市北三條西十六丁目

夏期の灌水に風車の利用

野井戸に本圖の様な風車を取付けますと努力の節約となり眞に重寶します、不要の時は止めて置きます、但し時々潤滑油を注いで置けば左程傷むものではありません、畑に是非欲しい設備です。



今年肝心の五月が低温に過ぎ不順だったので何處共ナスの出来榮が良くありません、盛夏ともなればウント肥培して挽回せねばならないと思つてゐます。次に本畑の手入としてはトマト、茄子の腋芽搔取り誘引、胡瓜の病害防除、西瓜、甜瓜の害敵捕殺、敷藁を勵行し、且除草を怠らず雨後には必ず中耕して乾燥を防ぎ併せて根の發育に資します、愈々乾燥期に入りましたのですから、常に十分灌水し同時に極く薄い下肥を施し、圓滿な發育を遂げしめる様に致し度いものです。前月に

も述べました通り、成長旺盛期又は開花、結實期の作物には殊に多量の水分を要求するものですから、十分與へる様にし、水利の便ある所ですと畦と畦との間に水を流し湛へる様にするのも便法です。

〔果樹園〕 天津とか傳十郎などの中生桃を筆頭に李、晩熟枇杷である田中、納所兩種、早生梨、早生洋梨、ハダンキョウ、サクランボ、無花果、早生林檎に今月から早生葡萄も登場し味覺の秋を謳ふのであります。小さい桃、種子の大きい枇杷であつても家で採れたものには格別の味を持つてゐる様に思はれます、殊に家庭園向には栽培の造作ない桃、イチヂク、柿、葡萄が格好かと思ひ是非庭の一隅に各々一、二本は植えて度いものです。結果期迄は常に野菜を間作して利用すれば宜しいのです。桃の土用種とか、白桃などの晩生種には本月に入り速効性肥料を與へます、尙葉潜虫の發生に對しては硫酸ニコチン液の八〇〇倍液を撒布します。柿は相當に果實も肥大しますから速かに袋掛けを濟せて下



委草の夏咲の鮮麗

す花開みのに分夏で類種と呼とムーニゴラベを名洋すまけ着を花な事美に實で輪大重一すで英咲季一るで木挿すまし冬越に易容で温保のし少く強もにさ寒と防豫害病回三一二に前花開ひ行を替土春し殖増。すまき置てし布撒を液ドイツは或ドイツでし

さい、炭疽病、落葉病には殺菌劑を、又大害敵ルビー蠟虫、帯虫にはコクサイド、ルビートル或は砒酸鉛液を豫め撒布して置きます。

〔花壇〕 今月は夏ダリーヤの最盛期で美しい花が誇らしげに咲いてゐることと思ひます。適宜花蕾を間引いてやりますと花輪も大きく、切花にする際具合が宜しいものです。然し下旬に至れば高温に過ぎ株が衰弱しますから地上一二尺位から株を切り枝條の更新を計りますと秋の花が一層美事です。けれ共植込時期が遅れて株が小さければその儘伸ばして行つて差支ありません、八月に遣入つてからの剪定は芽立ちを遅らせませす關係から是非今月中に済す様になさ

い。
スカーレットビー、フロックス、アスター其他草花の種子を採り、秋花壇の植込みが未了であれば、今月上旬に夫々考案された意匠通り定植を終る様にします、水邊の王者睡蓮の花も愈々



芝な様す示に眞寫はに庭芝い廣し少業作刈芝の夏業作に快愉とすまし用使を(アーモンロー)器刈手でん喜も達供子とすで間い短に殊すま來出が所で鎌り張矢は分部の芝縁し然すまれくてつ傳しと長延の屋部に常は生芝すでのふ行を刈手謂様の中背のソオイラも時何らか係關する用利てもに店貨百は器刈芝うせまき置てつ刈に麗綺に町井大市屋古名店商香淺の市堺がうせまりあの齒枚三吋二十巾すまり居てし作製で店商田福。すまへ考と向庭家が齒枚三吋十巾かのも



植移回一第の瓜冬抑制

上月七 すまし用採を種生早非是はにめたの的目のこ
 八 一行に旬中月七を植移の回一第 し播條に床苗旬
 は 中育生 すまし穫收に旬上月十 植定に畑本旬上月
 。すでいし望がとこるへ與を肥液の量多に常

美花を水面に浮かせすから、時々勿體ない氣も致しませうが、棒鯉を挿込んで補肥に用ひますと大層色艶を増します。秋花壇の寵兒テランセラの株分けは二週間に一回の割に來月中迄盛んに行ひます。春の一株は八月中には優に百株以上には殖すことが出來ます。

〔養鶏〕 一段と暑氣の厳しい時季ですから産卵も大いに減じ體力も著しく衰へますので六月の巻に記述しました通り新鮮で、且つ榮養價の高いものを少量宛數回に分給することが肝要です、舍内運動場の床土は一―二寸鋤取つて畑の新土と取替へ砂浴と土壤啄食とを十分せしめる様にします、鶏舍から出た土は何よりの肥料となりますから畑一面に撒布しても卓効があります、舍飼のものには必ず日蔭を設け、涼しく通風に留意を拂ひます、夜間は金網戸の設備が望しいです、四月頃孵化した若鶏も相當成長した事と思ひます、雄鶏は良い候補者のみを残し他は全部去勢しますならば秋には立派な肥肉鶏になります、昨今は青草の豊富な季節ですから刈り取り、鶏舍内

一面に擴げ一兩日後之れを集め時々水を注いで置けば良い堆肥が得られます、斯くて野菜作りにはこの養鶏が必然的に考へられる可き問題となつて來る譯であります。

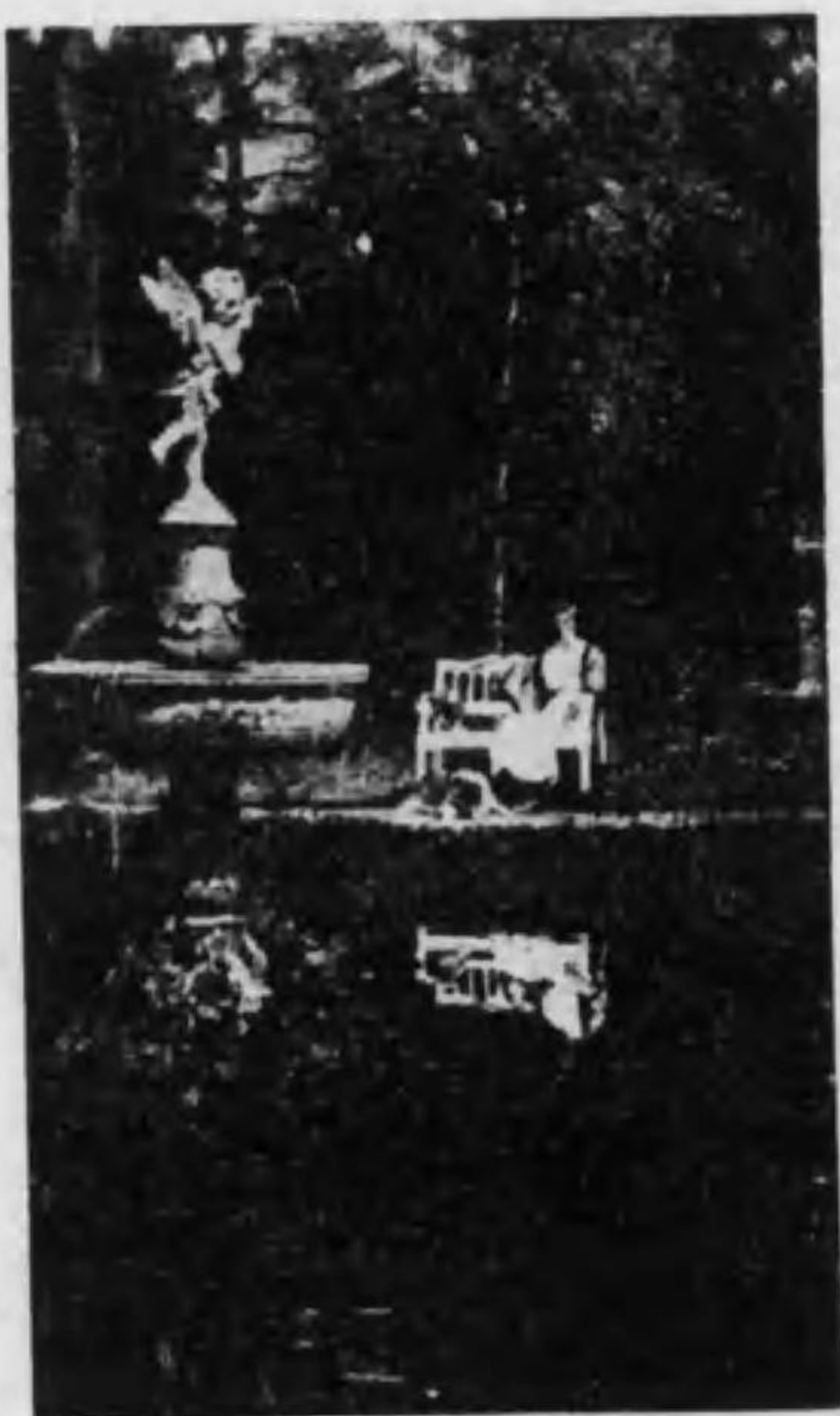
三伏の炎暑もものは吾家は趣味と増産の見地から愈々緊張裡に園藝に精進してゐます。大東亞戦争開戦以來短歲月を過ぎたのみで既に斯かる驚異的な大戦果を収めた陸海空軍勇士の御奮戦に應へる意味に於ても易々として病氣になるとか、漫然と時間を空費することは眞に相濟まぬ次第であります。今夏は朝夕の庭苑手入に止らず休日は寧ろ日中を選んで鍛鍊々成に揃つて活動してゐます。殊に芝刈器を使つて流汗淋漓たる玉の汗を拭ひ乍ら、樹蔭で憩ふ氣持は正に萬斛の涼味であり勤勞する者のみが味ふ爽快味でありませう。

今年の梅雨は殆んど霽れ間なしの長雨のため全作物は徒長氣味で其收量を案じられてゐましたが、其後高温の爲か案外好成绩だつたことは、更に肥料の配合と病蟲害の驅除に専念した結果と思ひます。今年は何處共害蟲の被害の多いのには全く閉口です、來月ともなれば激減しますので今月は尙手を緩めず害蟲防除と除草の一層の拍車をかける決心です。

〔野菜園〕 本月畑からの收穫豫想品を挙げますに、第一に胡瓜、トマト、茄子、南瓜、スイクラワ、シロウリ、マクワウリ、レイシ、冬瓜、春蒔菜、パセリ、シソ、トウガラシ、フジメ、ササゲ、エダマメ、夏大根、夏牛蒡、夏用シヨウガ、早熟里芋、夏葱、百合根などがあります他、夏白菜、シュンギク菜等、之等畑の幸で全く食糧確保の感がします。尙梅雨の霽間を利用して調製した小麥が不作だつたと評定しながらも約一斗あり、早速附近の製粉所に依頼し

て置きました所、一斗のメリケン粉となつて届きました。今年始めて作つた小麥一斗から同量の粉が出来ることを學び、大切に用ふることによつて優に今年の使用を充すに足るのを見て感謝してゐます。甘藷も今月末には早や第一回の收穫を行ふことが出来るのですが、今年から初物を喜ぶ習慣を止めて増産の意味から充分長く畑に置く考へです、跡地には玉葱を作りますから、左様急いで收穫の必要もないのです。

池畔の噴泉 夏は何と云つても水邊です、芝刈に耕耘、薬劑撒布作業の休憩には何時も冷し番茶で涼を入れま



す、時々には作業上の氣分轉換に池掃除、水換へを家族一同でやることにしてゐます、河邊で採集したウキクサ、サンショモ、ウキゴケ、アカウキクサ等浮草類を清淨な水面に差ふのも随分趣味の涵養に役立ちます

〔菜豆栽培〕 本月中隨時播種して宜しく、四〇―五〇日にして收穫期に達し四〇日間採收が續きます、又莢は可

成若い内に採るので、畦幅三尺株間一尺二寸、一個所三粒宛を播くのと同時に支柱を建て、置きます、生育中赤ダニの寄生あり石鹼水を連続葉裏に灌注して下さい、乾燥すれば一層被害が夥しいものです。即ち初心の方は支柱を設けるのが面倒な理由で蔓無種を好んで蒔かれますが、成育期間短く且つ収量少なく一―二回収穫すれば所謂成り止みとなり、剩へ害虫のために再び恢復の機会なく失望する場合がありますから、是非ケンタツキウオンダー、鈴成菜豆、八ツ房菜豆、衣笠などの蔓性種が寧ろ好適でせう。

〔苜蓿類〕 盛夏の候は青菜の缺乏期ですから、私共の畑には常に絶えず之れが周年栽培を實施してゐます、故に種子も餘分に求め蒔残つた種子は乾燥した場所に布袋に入れて天井に垂し貯藏して居ります、昨今は特に希望の種子の入手が困難ですから、又發芽年限も大丈夫相當年保つもの、序ですから一寸次に主なる種類の發芽年限を列記して見ませう。

トマト	四一九年	菜豆	三―八年	カブラ	五―一〇年
茄子	六―一〇	白菘	三―五	大根	五―一〇
甘藍	五―一〇	胡瓜	八―一〇	火焔菜	六―一〇
牛蒡	五―六	越瓜	四―八	西瓜	六―一〇
南瓜	六―一〇	蠶豆	六―一〇	トウガラシ	四―七
玉蜀黍	三―四	玉葱	三―七	玉チジャ	五―九
人参	五―一〇	蒺藜草	五―七	ミツバ	二―三
豌豆	三―八				

この表を御覽になりまして種子は相當長年貯藏出来ることを御承知になられたことと思ひま

す、蒔き残りの種子は其の購入年月日を記入して置けば結構何時でも利用出来る場合が多いものです、甘藍、結球白菜類は却つて古種子の方が結球が良いとさへ云はれてゐるのであります。

(閑話休題)

借て話を菜類に移しませう。結球白菜中芝罘、京都白菜、第三號愛知白菜は畦幅二尺五寸株間一尺五寸とし、畦の中央部を割り、腐熟堆肥の類を鋤込み土を覆つて條播します、是非今月中に播かなければ美事な結球は到底覺えないものと覺悟せねばなりません、又夏白菜を播くならば前記の整地を行つて隨時蒔くならば四十日で收穫出來て大層重寶します、管理上の注意としては乾燥期だけに朝夕必ず極く薄い下肥を與へること、葉を食害するキスジノミムシとか、蚜蟲の驅除に勉めることだけです。昨今は重要農用藥劑の總てが配給制になつた爲入手困難なことが傷手ですが、應接室の煙草の吸殻を集め、之れを煮汁とし、石鹼を加へて用ふることにしてゐます、近來發賣のキソグ乳劑(大阪市北區堂島濱通一丁目、帝國除蟲菊株式會社發賣一罐四五〇瓦入三圓二五)も効果が多様



大菊の鉢作り 梅雨明け後暑熱急に加はると共に、一層旺んな發育を遂げますから、補肥と病害蟲防除に懸命の努力は拂はれなければなりません、來月ともならばモウ花蕾を抽きますので、ここを先途と一同行入に大童です、讀者各位の大菊は寫眞の大きさに育つて居りませうか、鉢は一尺の丹波鉢です。

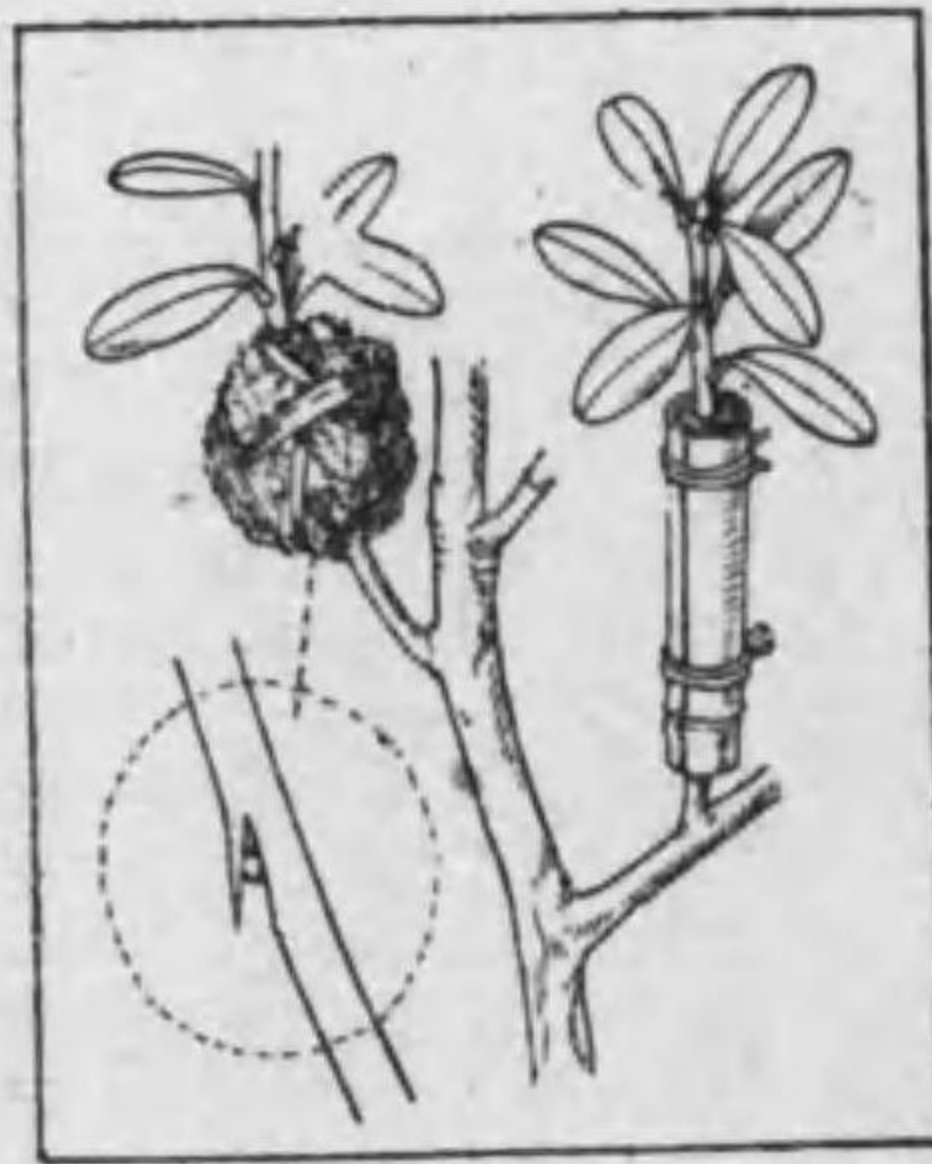
〔子持甘藍〕 マツチレス、増田種が宜しい、苗床で苗を育成しますが常に乾燥に留意し、移植の度に草木灰を施し根を十分張らす様に心掛けます、畦幅二尺五寸、株間一尺五寸とし来月上旬迄に定植を終ると宜しい、春蒔に比し秋蒔は抽薹とて花を抽くことが早い缺點はありますが、テーブル用には珍品として迎へられますので毎年作つておます、手入としては草丈三尺にも伸びた時は摘心して頂きます、そして下部の葉を摘去して小甘藍の發育を助け手入を致します。

〔花椰菜〕 先月末入手した種子を早速苗床か鉢蒔きとします、六月に播くと良いのでありますが、此時期には新種子を求めることが出来ず古種子故品切の場合が尠くないので、終に播種期が遅れる結果となるのです、育苗中は前種同様乾燥と青蟲の被害から常に注意が拂はねばなりません、斯くて子持甘藍は早春から花椰菜は四月から六月に楽しい收穫期を迎へるのです。

〔茄子〕 連日盛んに結果しますから乾燥しない様に水利の便のある場所には畦間に水を引き入れることも良策です、同時に肥料ギレしない様に米糠と乾燥腐熟鶏糞との混合物を株元に置くと皮も軟かく色艶の良い顆を収めることが出来ます、次に秋茄子を澤山收穫せんとする向は本月下旬草勢の稍鈍くなつた頃を見計つて各莖を半分位の長さで剪定し新芽を發達させますと、全株は俄然若返り丁度九月中旬頃から再び旺盛になり降霜期まで所謂皮の最も軟柔な嫁に喰はすな秋茄子が採れるのです、株を拔取る際に未だ附いてゐる稚顆をカラシ漬の材料として使ふので茲に茄子は全く長い生育期間を終ります、枯枝は軒に吊し乾燥せしめ風呂の焚木とし又茄子の葉は嫌味噌の中に入れて蟲よけにするなど種々の利便があります。

〔菠薐草〕 本月から年内中適宜閑地に蒔くのですが、酸性土質に對する抵抗が最も弱い野菜の一であります故、是非生石灰を少々畑に撒いてから播種します、秋蒔の場合は必ず風味のある在來の品種を作つて頂きます、大葉の洋種は抽薹が遅いので寧ろ春蒔用として御利用下さい、斯くて下種後三〇—二〇〇日間に採收されるのですから毎月一回必ず蒔く様にして居ります。

ごむの取木圖解 先づナイフで葉下二—三寸の個所から枝の中心部迄切り上げ是れに細い竹か小楊子、或は石を挿入し水苔を巻いて紙で縛り乾かない様にして置きますと、一ヶ月にして赤い根が外に現れますから、七分根を下した時を見計つて切り取り排水の良い砂混りの用土で植えると茲に立派な一本の鉢植が出来上ります、六月から八月まで隨時行はれて差支ありません、只ナイフの切方が浅いと何時迄も根を下しませんから枝がグラつく位に切りませう、この時必ず竹で支柱を與へて置くことが大切です、ザク口、ツゲ、カシ、モミヂ、ツバキ、等枝振の良いものが見當つた時試みるのも面白いです。



〔大根〕 美濃早生種は来月上旬まで隨時蒔いて下さい、五〇—六〇日で早くも收穫出来ますから宮重大根が現れるまでは本種を栽培して居ります。

〔蕪〕 小蕪は周年播かれて宜しいが大蕪中今月蒔くものには聖護院蕪があります、天王寺蕪は九月上旬が宜しからう、最初から間引を餘り粗くすると害蟲のため害された時などに後日不都合な結果となりますから此の點に注意が肝要です。

〔秋用胡瓜〕(餘蒔胡瓜) これに適

するものに支那三尺、臺灣毛馬、及び大和三尺があります、栽培の大要は前者は節成で株間は狭く八寸位で宜しい、後の二者は腋芽が伸びて之れに結果しますから、雌花が現れ小指位に成長した頃二―三枚葉を残して摘心し、草丈も五―六尺に伸長した時に摘心して仕舞ひます、支柱の仕方は支那三尺は莖を數個所結束しますが、其の他のものは瓜の成り蔓を支柱に結束しないと重味に耐へ兼ねて曲つたり、折れたりしますから此の點管理上手加減を要します、瓜類に附物の大敵赤ダニ、瓜守カウシ、アブラムシの驅除を懇に勵行し、胡瓜の葉に觸れると痛い位の元氣潑刺な生育を遂げしめる様に作りませう。

〔庭苑一般行事〕 果樹、庭木には密生に過ぎたものとか、新梢の不用のものには枝透し即ち綠枝剪定を行ひ、本年未だ一回も刈込んでゐない籬は刈込鋏で恰好良く正しく紐でも張つて刈込みます。決して架空線に觸つてゐる街の並木でも切り込む様に枝先を剪定してはなりません、花木類はこれがために翌年往々開花を見ないことさへあります。下草物は大抵淺根性のものが多いですから早魃の際は必ず十分灌水します、況んや本春移植したサクラ、オガタマ、クス等には尠くも一週間二回位は十分に灌水しなければなりません、殊に市街地ですと早朝と夕方方には葉を洗ふ程度の葉上灌水は望しいもので一層樹木に活氣を與へるのに効果が顯著であります、然し出來れば灌水は常に汲み置きの水を注ぎ、汲み立ての井戸水などは禁物です。除草した草は乾燥防止用に畑、苑地に敷き一石二鳥の効果を生むものとして勵行されねばなりません。

九月の巻

今月に入つてからは朝夕がめつきり涼しくなつてまわりました。

偕て先月は自然の恩恵と家人一同の弛まざる一致の勤勞によつて次々と作物が採取され野菜の配給所の御世話にも餘りならなかつたことは、食糧確保に聊か協力せるものと自負し、今後一層技術の練磨と合理化を計り向上して行き度いと思ひます。今迄遊休放置してあつた邸内の休閒地も悉く合理的に利用することによつて斯る大きい成果を収めることが出來たのは、吾々家族の氣魄の表徴として寔に心強く感ずる次第であります。

今月は爽涼に乗り園の幸、香氣に味覺の第一人者葡萄の登場となり西洋杏、早生栗、早生柿、中生梨、中生洋梨、珍果ポポー、新林檎等嬉しい果物のお目見えに味覺を饒る事せう。又野菜の收穫品はと謂へば、南瓜、大根、茄子、秋甘藍、蕃菽、菜豆、白菜、ナタマメを始め里芋、牛蒡、生薑、晚蒔胡瓜、晚蒔トマト、オクラ等が出來毎日重寶して居ります。今年茄子苗を求めた内數本白長茄子の株がありましたので良く調べて見ますと、重慶白茄子だと略々見當がつきました、本種は四川省重慶の原産で明治の末期に移入を見たものゝ様です、長茄子で花は純白ですが、顆の外皮は淡緑を呈し家人は珍しがつて子供等は重慶を食ふといふのでこの茄子が出ると大はしやぎです、漬物よりも油焦が結構でした。

〔野菜園〕

私の菜園には今月次の様な種類を選んで蒔く積りで、種子も八月の休日に夫々註

文しましたところ大半揃つて蒔く計りになつて居ります、即ち

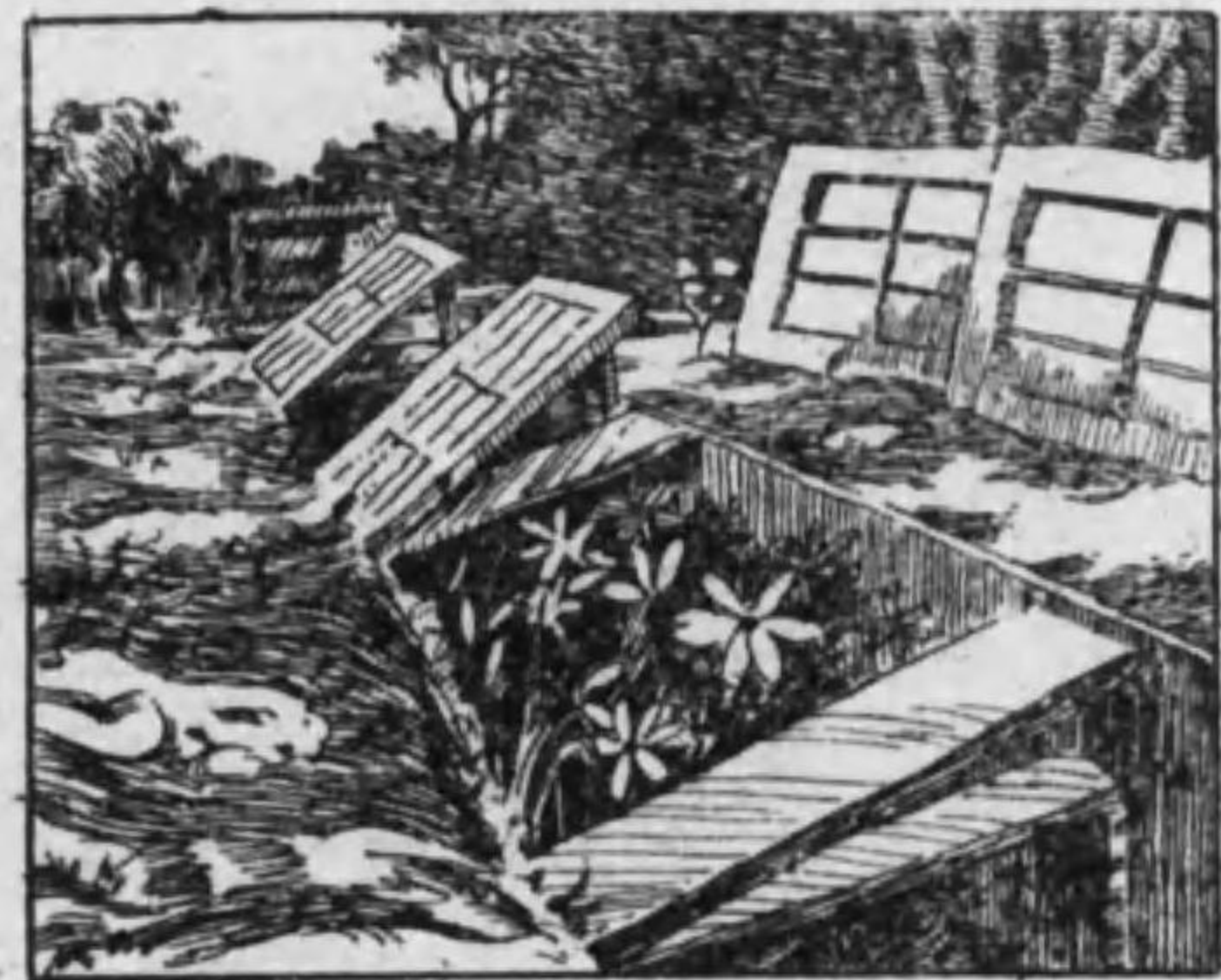
宮重大根 本種は是非上旬に蒔くことで、これより遅れますと小根しか得られません、三ヶ月後の十一月から十二月に美味しいフロッキが頂けます、大體煮食用種で今年は一切干用として澤山貯蔵する計畫です、愛知縣の原産で尾張大根とか青首大根とも呼びます、尙場所があれば鎌馬大根、聖護院大根をも上旬に蒔きます。

金町蕪 殆ど周年栽培出来ませんが今月上旬蒔が一番宜しいでせう、三〇—四〇日で收穫期に達します。

天王寺蕪 中旬に蒔いても年内には相當發育しますが、本種も上旬に蒔く方が大蕪が採れます、今年には黄金蕪とて黄色種をも作ることにしてゐます。

夏用牛蒡 瀧ノ川、越前白莖兩種を下旬に蒔きます、本種を來年二月に蒔きますと、所謂葉牛蒡として六月に收穫、料理人に喜ばれます。

馬鈴薯 晩生種は往々發芽しないことがありますから、豫め種薯を稍濕氣のある然も冷涼な場



昨ぬらやめ冷の配氣の夏だ未 所息安の物鉢
燥乾と照日はどなのも栽盆かと類數羊 今
し成養で所息安中月今尙 にめたるけ避を
晒に氣冷分存し去撤を覆日は分夜 うせま
。すまりあて要肝がけ掛心す

所に一時假植し、催芽せしめてから植えると宜しい、二—三回の追肥を與へ、枝は二—三本位に止め十一月頃摘心して十二月中旬に採取します、夏、秋用に較べて收穫量は三割見當ですが翌春三月中、下旬に植込む種薯用としては優秀なものです。

蔓性金蓮花の花 本種に矮性種と喬性種があります、何れも五月上旬畑に直播します、盛夏の夕方などは殊に花色が鮮かです、此處に示しました蔓性種は朝顔、夕顔等と同じく簡單な竹支柱を與へて之れに纏絡せしめますと、花は兜、葉は楯と全く戦勝に縁(ユカリ)ある花卉として夏から秋まで長らく鑑賞が出来ます芽出度いお花です。



球莖甘藍 別名蕪甘藍とも稱せられア—リー・ホワイト・ヴェンナ及びア—リー・パール・ヴェンナの兩種を用ひました、先づ箱蒔とし發芽後一—二回假植、五週間位で定植、其の後二ヶ月から順次收穫出来ます、漬物として齒切れ良く珍味、煮食用にも至適する推奨種の一つです。

葱頭 本月下旬に薄く床蒔とし十二月下旬に定植を終る手順を採ります。

葱苗 前月に未だ植付けない向は今月上旬に定植を終る様にして下さい、栽植前淡い下肥を與へて置くと發根が宜しい、灌水の要はありません、土寄は九月下旬以後に行ふのであります。

分葱 砂質壤土に二尺畦に株間四―五寸として球莖を一ヶ所當り二―三球宛浅く植えます、三月から五月中葱の勤い時に收穫出來ますので大變珍重します、ラツキョウもこの要領で植えて下さい。

玉蔞^{タマシヤ} 本月蔞のチシヤは栽培が最も容易です、箱蔞又は床蔞きとし發芽後一―二回移植、本葉四五枚出た頃を見計つて一坪に八〇株位定植します、基肥には堆肥、木灰米糠等を加用しますとサラダとして結構です、十一月から翌春迄隨時收穫出來ます、冬季は冷床に假植する時は更に立派なチシヤが得られます、ニユーヨーク、ピグポストン、ワヤヘッド種が恰好です。

白菜類 前月に蔞くのが好結果を得られますが、本月上旬でも差支ありません、乾燥しない様に毎日極く淡い下肥を灌水代用として施す一方連日害虫の防除に努めて頂きます。

夏用甘藍 下旬乃至來月上旬に床蔞とし、二―三回假植後十二月から翌年三月頃迄に夫々定植六―七月が收穫期となつてゐます、栽培の容易な野崎中生、三池中生、サクセツシヨソ種が家庭園向でせう。

以上の他體菜、ホウレン草、花椰菜、フダンサウ、秋用豌豆等モット／＼空地が欲しい氣がしますが、凡て少々宛なるべく多くの種類を作ることにして居ります。

今月も猶暑さが相當厳しいですから、特に朝夕の灌水と病虫害の驅除が野菜栽培成功の要訣です、先月と今月の灌水と施肥量手入の多寡は必ず涼しく楽しい十月の蔬菜園に現れて参ります、十月の陽氣の良い時に幾ら手入を集中しても時既に遅しです、晚いのも今月二十日頃までで、足跡が肥と謂はれてゐる通り絶えず畑を見巡り手入を致しませう。

〔花壇〕 花壇の中央植えにしたパンパスグラスも雄大優美な銀色の花穂を抜き庭一面に涼味を發散させ、邦産のススキよりも綺麗です。雁來紅も着々色の濃さを増し桔梗、コスモス、サルビア、段菊、早咲オミナヘシ、藤袴或は木物の萩、木犀、芙蓉に爽かな秋を告げる之等の花木を眺め茲に再び迎へる日本の秋を讚美いたしませう。

苗床には三色堇、金盞花、フロックスを花壇用のために蔞き、切花向として霞草、鐘草、八重矢車菊、松蟲草を作ることにしてゐます、香氣の高いスキートビーの種子は來月が蔞き月ですから本月早々に次の品種を注文しました。昨年優良混合種子を取り寄せて作りましたが、矢張り別けで蔞く方が鑑賞上宜しいと考へますし、切花に致しますにも非常に好都合です、即ち何れもスペンサー種の中から選出しました。

- 白花 エドナ、メイ、インブルーブド
- 紫、 パーブル、モナーク
- 草黄 サンキスト
- 緋 キヤブテン、ブラッド
- 藤色 キング、モーブ
- 橙色 キング、オーレンジ

球根草花の植込期は來月でも構ひませんが、水仙類、ワトソニア等は比較的早い方が好成績です、先づ花壇にする花床は出來る丈け深耕し牛馬糞の腐熟したものか、草木葉の堆肥を鋤込

み土と良く混和し圖解説明通り植えて下さい、アネモネの上下は一寸判り難いものですから縦にして植えます、小さい根が着いてゐる部分が下で葉の着いてゐた痕跡のある部分が芽ですから上にして一寸位の深さに浅植するのです。

【果樹園】には西洋杏、中生栗、中生葡萄、中生洋梨、中生梨、早生柿に食欲を唆る温室葡萄のマスカット・オブ・アレキサンドリア。ブラック・ハンブルグ等の著名品種は食通には知れ渡つてゐませう、又一時東京某果物店に現れ、パインアップルと林檎の香氣と風味とを兼有しそのバター色の果肉で銀座マンを風靡した斯のポポーも今月末には熟します、本種の樹性は柿に似て居りますが若木の内でないと移植が困難です、府興謝郡山田村小長谷左衛門氏に御照合下さい。

【養鶏】

飼料の入手難もあり暑さ嫌ひの鶏のこととて、特に八月中は色々と氣を遣つてやら



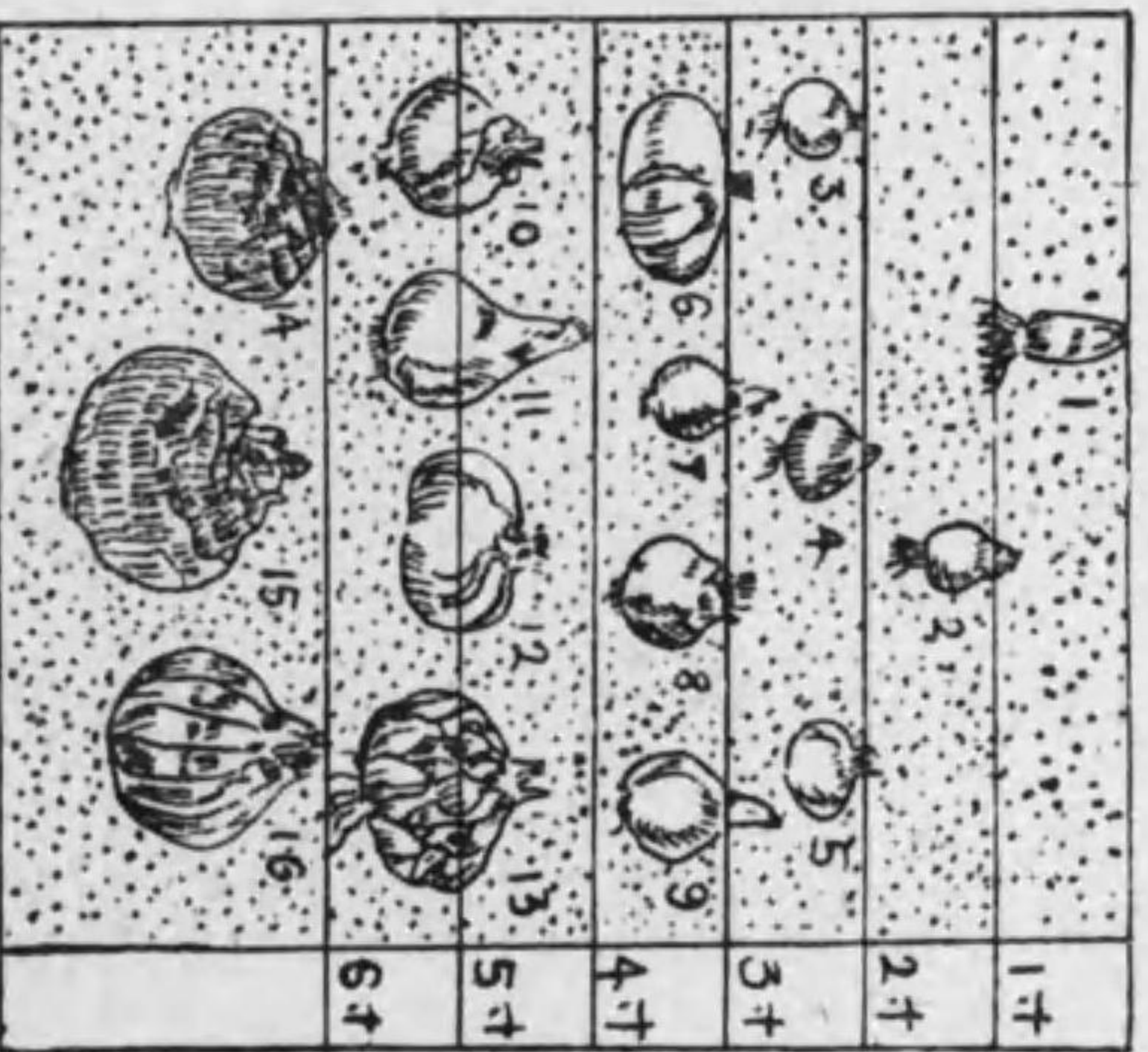
楽しい種子蒔きの作業

した通り藁をかけて乾燥しない様な何時の場合灌水は十分に注ぎ且つ細い如露を使ふのです向ふの硝子室内には只今チンヤ、花椰菜、蕪甘藍、甘藍などの苗仕立場に使つてゐます。



美事な大長胡瓜 去る七月本月に畑に播きしものす病 害除に懸命の努力が甲斐があつて今この様な美事な事な胡瓜の収穫を見まします。

ねばなりませんでした、そこで蚊軍の撃退に清潔一本槍で昨今非常に體位の向上を示した事を喜んでゐます、この分では秋風と共にポツ／＼産出してくれませう、四月の巻の寫眞で御目にかけた雛は既に成鶏となり來月の産卵に期待をかけてゐます、鶏は脚を熱することを大層嫌ひますから、灼けた床には決して心良く運動せず終日舎内に止まつてゐますから、此點に留意して涼しい日蔭を十分與へませう、刈り取つた雑草を床に敷くとか、一坪に四五羽を飼ふと云ふ風に通風に考慮します、今月から一日四回位に分餌すると宜しい、又鶏専用斯のカキナは今月蒔いて翌春から夏迄の菜の缺乏期に利用すること、入手し易い厩馬鈴薯は冬の飼料として貯藏して置きます、高飛びする若鶏も産卵し始めますと飛ばなくなるものです。秋は園藝に養鶏に愈々佳境に入る好季節ですから、各自の新研究を隣組の話題に提供するのも興味ある問題と存じます。



秋植球根草花の植方圖解
數字ハ深サヲ示ス

説明

名	稱	株間(寸)	名	稱	株間(寸)
1	鈴蘭	1	2	シラ	1
3	ムスカリ	1	4	スノードロップ	1
5	クロッカス	1	6	早咲グラジオラス	1
7	球根イリス	3	8	早咲水仙	3
9	早咲ユリツブ	4	10	大輪水仙	4
11	晩咲ユリツブ	5	12	ワトソニア	5
13	大輪百合	7	14	ヒヤシンス	7
15	ヒヤシンス大球	6	16	水仙大球	6

註 花百合の類も球根の大小によつて十番から十六番を標準に植えて頂きます。

十月の巻

今年は全国的に稀有の米作豊年が豫想されると先月発表になりました、この事は戦時下總ての悪條件を克服した努力の賜であると同時に、申分のない日照と適時、適期の慈雨の御蔭と吾々は只々神の加護を信じ感謝あるのみです、糖

菊三 態 一 頌秋

大菊、中菊及び小菊の花容を示しました、殊に中菊は咲き初めと中程と終花に近くなるに従つて花葉が種々狂ひ變化するので別名狂ひ菊とも謂はれこの狂ひ具合を懸に鑑賞するのであります。



て瑞穂の金波も利鎌が加へられんとしてゐます。即ち上旬に早生稻、中旬に中生稻、下旬後に晩生稻の收穫が夫々始められ文字通り農家は嬉しい取入りで大豊です、麥の收穫と違つて陽光はよし嫌はれる芒がないのが何より作業を樂しめます、稻のみに止らず風除け代りに植えた粟、ハトムギ、高粱、トウモロコシ、蘆粟、又は石礫等のために他の作物の出来ない場所を利用して蒔いた蕎麥など澤山の夏作物を收穫するので一年中で一番忙しい月となつてゐます、哀歌をすだく蟲の音も次第に衰へるにつれて山野庭園の紅葉詩觀の好季、山の幸に賑ふ今月は

します、施肥の際根許に肥料の觸れない様に注意を要します。

高萱タカハ|| 一般に軽い土に箱播きとし本葉三―四枚の時畑に少量の消石灰を撒き腐熟堆肥を基肥として四尺畦に五列植とします、十一月下旬から四月中旬が收穫期となつてゐます、前月蒔と並んで今月上旬蒔きますものが栽培が最も容易です、冬期は冷床(二月の巻の寫眞参照)或は藁園を設け之に油障子を架しますと大切な葉を傷めることなく良いサラダが頂けます。

春用甘藍|| 前者同様箱蒔とし一―二回假植十二月中に定植、五六月の候に採取するものです、幼苗中は蚜蟲の被害がありますから前記新興殺蟲剤とかキング乳劑を注ぎませう、品種としては極早生丸甘藍、三池早生、野崎早生、アーリーブラツト、ダツチ。ダニツシユラウンド、ヘッド。アーリー、ジャーシー、ウエークフィールド等が



八重コスモス

然コスモスは人氣を失ひません、元來赤、桃色と白を作つてゐたのですが先年友人から八重咲種の種子を頂き今年で二年育てました、種子も案外樂に採れます、少し小さい種子で澤山は熟しません、コスモスは本種の他に早咲種と黄花種があります、中秋に冴へた花色は可憐そのものです、メキシコの原産。

近年一部の草花黨を養つて家族一統が野菜作りを専念し出した爲、相當地積を擁してゐたお花畑も種類の嚴撰から數種を残すのみで甚だ寂寥となりましたが、依

擧げられます。

ホーレンサウ|| 春蒔は西洋種が適しますが秋蒔は本邦在來の菱形葉のものが風味とか甘味があつて宜しい、土質は輕砂土と酸性土には出來ません、秋蒔は條蒔より撒播が宜しく三尺幅の畦に前夜から水に浸して置いた種子を箆に上げ日蔭に置くと早くも少し白根を現した時に粗く畦幅一面に播下一―二分覆土して置くのです、生育中は再三極く淡い下肥、或は鶏糞汁を與へ度々間引いて食膳に供するのであります。

葵菜アヲシホと苘蒿シユンシヤク|| 栽培は大體前者に準じて差支なく只條蒔きにして頂きませう、十一月から翌春に適宜採取。

花椰菜|| 春用種を遅くとも上旬に蒔くのですが出來なければ苗を求めて一―二回移植、來月か十二月に定植、冬期は簡易な防寒を施すと同時に乾燥すれば薄い液肥を中耕後與へて下さい。

蠶豆|| 品種は於多福、極早生を選び一尺位の間隔に一―二粒を點播、一株二三本立とし肥沃地は肥料を減じ、且つ莖の伸長が旺盛となれば適宜摘心を行います。

春用豌豆|| 一株三―四本立とし伸長に従ひ竹で支柱を與へ誘引を致します、腋芽の摘去を忘れてはなりません。

カキチシヤ|| 苗床に蒔き一ヶ月後五寸間隔に本畑に定植、播種後七〇―八〇日で下葉から順次採取して參ります。

千筋菜と壬生菜|| 本畑に直播し、或は床播とし生長後隨時空地に移植して下さい、病蟲害の被害も尠く毎年連作して差支ないと云ふ極く作り易い野菜です。

以上の他火焰菜、牛蒡、三寸人參、三ツ葉、廣島菜、芥菜、高菜等があり何れも作つて見たい野菜陣列です、今年は瓜類の跡地に麥作をする計畫で前年の小麥畑計りにせず大麥も半分位栽培致します。何れも麥奴其他の病害豫防として種麥をフォルマリンの二〇〇倍液に一〇分間浸漬後充分水洗して播種する法を採ります。

〔花壇〕 秋花壇の最も美觀を呈する好時季ですが、一方八―九月に蒔いた三色堇、金盞花、勿忘草其他の苗物の移植、春蒔草花の種子採種に忙しく、菊花壇の見巡り手入に寧日どころか寸時もこの楽しい労働を退くことは出来ません、昨今四季咲バラ、ダリア、チュベローズ等の花色も冴へて殊に美しい眺めであります。

〔果樹園〕 イチヂクの秋果を收穫します、カミキリ蟲の被害ある幹には二硫化炭素を注入して置きます、夏イチヂクを賣らせるには早春果のヘタに食用油を塗布して置くと大果が得られます。柿の收穫前のもは豫め袋を取り除き充分日光に當て光澤をつけます。今月の落葉には病葉が多いですから必ず焼却することにして下さい。栗苗は下旬から來月が移植の適期となつてゐます、庭苑竹林に下肥を與へます、下旬から山茶花が咲き初め雨天、千兩、萬兩、丁字桂、野木瓜、サンザシ其他各種紅葉の觀賞季に入りますから心して之等の手入を怠つてはなりません、常綠樹の移植は今月中に済ませせう、又藤、ムベ等の蔓性植物は蔓を剪定し棚を修繕して置くことも今月の大切な行事なのです。

〔養鶏〕 今月は換羽季ですから羽の成分となる貝殻粉などを食餌に加へて給與します、尙動物質の他に間引野菜を利用して十分與へて頂かないと排泄を損ひ元氣がなくなりやすから日夜

その動作に注意を拂ひます、昨今野や畑に蝗、コオロギが無造作に捕へられますから存分與へると同時に餘分は蒸し乾燥して冬期中の濃厚餌料として利用するのも一策です、又採收後の畑を深耕して一時的に放飼すると落葉、害虫を捕食し不足の有機質物をも啄食して成長に非常に好結果を齎すものです。

序ながら此頃羊、山羊、豚を交尾せしめて置きますと丁度來春から晩期に入りますから好都合です。

之等の家畜を飼育することは畜に乳と肉を利用する計りでなしに肥料を得ると云ふ大事な利益が伴ふので今後農藝を行はんとするには是非之等牧畜を併せ飼育し遂行しないと満足な結果を得られないのであります。

「土地肥すには牛肥せ」の意も此處に在るのです。この惠まれた陽氣に能率良く庭苑を整頓して置きます。殊に野菜畑は最も充實して寧ろ美しい姿を展げて居るに違ひありません。若し夏無精しておれば苗は小さく如何に今から丹精しても會心の作は既に覺束ないものとなつてゐます。

蓮根、セリ、蕎麦、秋用菜豆、實オクラ等が擧げられ一年中でも最も野菜の豊富な月でありませう。秋冬作野菜は秋冷には薄い連日の施肥で日々其の成育が目立つて著しく感じ全く手入甲斐のある月です。初心者野菜栽培は秋九月頃から始めるのが一番容易で、然も相當の收量が見られて洵に楽しみなものであります。家庭園藝の最初は先づ申し合せたかの様に草花作りが試みられますが、兩三年後には殆んど全部を野菜作りに向向される向が多いです。去る五月純白大型の隼人瓜を一個植えましたものが今月に入り八疊敷程もある藤棚式の支柱には文字通り鈴成の盛観です。この内霜害に拘はらず相當成長したもの十個を來年の種株として暖所に貯蔵する積りです。一株あれば逆も一家族だけでは消費しきれずまい、可成り貯蔵が効きますので此の點南瓜、玉葱、里芋、秋とり馬鈴薯同様非常に重寶します。又オクラ、(アメリカねり)であります。従來は嫩顆(若蒴)のみを味噌汁とかフライ等に用ひておりましたが、今年子實を少し煎りコーヒ碾きで粉碎して煎用しましたところ、一寸コーヒと判断し兼ねる位の芳香風味の良い飲物となり一同大発見でもしたかの様な欣び方です。光澤全くコーヒに遜色なしで、この事は豫て書籍とか雑誌で承知してはいましたが、實驗したのは初めてです。代用品時代だけに良經驗をしたと喜んで居ります。今内地で某食料品舗が大栽培してゐると聞き及びました。宜なる哉の感じを深めました。一反歩の實收量は一石と謂はれます。切花では洋菊、晚咲グラジオラス、金魚草、バラ、ダリア、ガーベラ、カカリア、高砂百合等があり、果物には柿、栗を始め洋梨、晩熟葡萄、林檎等が日常私共の食膳を飾り之等秋の幸に感謝を捧げ冥加には只々勿體ない心持で一杯です。



種收の根大庵澤 種本は九月月上旬に如直播丹精
たれさのもては品種は白首宮重 又美濃早生
大根が適當でうせ。

〔野菜園〕

今月の菜園は雑草の跋扈も極めて少く中耕、施肥に忙しい一日を送ります。ウリパイ、サルハムシ、ウンカ等の被害も僅少で作業能率上々と云ふ所で、畑一面青菜類で寧ろ壯觀を呈して居りませう。行事として花椰菜、甘藍、水菜苗の移植、各種菘類の最後の間引を済せ、深葱には液肥を與へ肥培後は漸次土寄せを行ひ軟白部を作る様に致します。セルリーの株には成長の具合に依り古新聞紙を巻き軽く結束して之れも軟白に取り掛ります。

今月播種するものを記載しますならば

春用豌豆 株間一・五尺位とし二―三粒宛一ヶ所に播き發芽後は豫め支柱を與へ時々浅く中耕を行ひます。品種は剝實用にはアラスカ、碓井種等

の蔓性種を、絹莢用の目的のためには白花大絹莢種を蒔いて下さい。

蠶豆 大阪一寸蠶豆、東京早生蠶豆、東京大蠶豆等の品種があり遅くとも是非上旬に蒔き終り度いものです。軽い土質よりも緊つた土を好みます。普通畦に一―一、三尺の間隔に播くか、苗床に一寸間隔に七・八分の深さに密播し發芽してから夫々本畑に移植し二―三本仕立と

致します、莖葉繁茂に過ぎた時は施肥を加減し、基肥として木灰を多分に施用して頂きませう、豆類は一般に連作を忌みますから、五、六年間は同一場所に栽培しない方が好成績であります。

蒔草 日本在來種中大葉種が宜しい、洋種は抽薹が晚いので普通春蒔にされるのです、平畦に本月下旬を最後に撒播します、種子は前夜水に浸して置き木灰にまぶして蒔くと二週間後一齊に發芽し、播種後五〇—一〇〇日で隨時收穫します。

百合根 小鱗莖を五寸間隔に點播するのが常法ですが、家庭園等では比較的小球を七、八寸株間に割合深目に重い土質に植えます、基肥には堆肥、木灰を施して置き成長に従ひ球根に觸れない様に下肥を與へるのです。

チシャ 暖所に箱蒔きとし一寸位に伸長したものを、藁園のある床に移植しますが、用土は出来るだけ軽い有機質に富んだ肥土に植えて下さい。

蒸菜 苗は移植が出来ますから空閑地に隨時移して作り、成葉を下から順次掻き取って用ひます。

高菜 本種も移植可能です、冬期中でも下肥の薄いものを度々與へて欲しいものです。

シユンギク 粗く蒔き冬季中でも補肥を行ひ收穫後は適宜、水菜、高菜、玉葱、花椰菜、甘藍等の苗を跡地に植出すのも良策でせう。

〔果樹園〕 桃、梅にはコスカシバが寄生しますからホワイト・ワツシユ（生石灰一、五貫砵酸鉛二〇匁、鹽二〇匁、獸油二〇匁）を幹に塗抹し、冬期剪定を行ひませう。葡萄は採果後病

果、未熟果を丁寧に切り去り袋の残物等と一緒に焼却します。栗、柿苗の移植期ですから適宜植込んで差支ありません、即ち柿、栗共自然型のものには土質、地味により多少差異はありますが三、三、五間四方に一本の割合に定植します、序々主なる果樹の結果樹齡表を示しますと

種 類	結果始	最盛期
和 梨	三—四年	八—二〇年
洋 梨 (共砵)	五—七	一〇—二五
林 檎	五—七	一〇—二五
葡 萄	三—四	八—二五
柿	五—六	一五—三〇
栗	四—五	一五—三〇

〔庭苑〕 山茶花、椿、つばしなどの花蕾が霜に傷みますから簡単な霜除を設ける他千兩、萬兩、龍舌蘭、エリカ、ソテツ、バシヨウ等適宜防寒の手順が肝要です、雪の多い地方には大切な松などには豫め雪吊りとして各主要な枝を吊り上げ枝折れを防止するのであります、又密枝、徒長枝、枯枝を剪定し、特に造り込みの庭木には各々刈込み剪枝を行ひ整枝技術を施して置きます、落葉樹木の移植は來月中旬頃迄には済ませますが、此の際鋭利な鋏で枝間引を行ひ根も切り直し根に十分土粒が廻る様灌水して植付け、後支柱を建て結束して置くことが活著第一の遣方です、風韻に富むお庭の敷松葉も今月の行事の一つとなつてゐます。

〔養鶏〕 今月も相當換羽鶏が居りますから食餌に注意し比較的濃厚餌料を與へます、何れにせよ産卵期なのでですから飽食せしめ鹽、木炭粉、牡蠣殻を給與してやります、畑には潤澤に青菜の得られる季節ですから、餘分は之れを乾燥し冬期中の飼料として貯藏し置くことも一策です、若鶏中は食量に大差ありませんが一ヶ月後にも達した鶏に至れば雌雄により多少が出來ますから、成るべく早く分離して飼育し、雄は早く處分するとか去勢を行ふ事が最も得策です。



家庭防空兼用の専門的な
球根貯蔵庫

一寸防空壕と云つた形でせう。地下又は半地下を掘りこの中に各種球根を貯藏します。鼠害を避け且つ温度の變化が少い爲此の目的に適ふのであります。空いてゐる場合には大根、蠶豆類三ツ葉等の萌し軟化野菜の栽培場としても役立つ他、防空壕として利用するのも結構で是非欲しい家庭園藝施設の一つです。

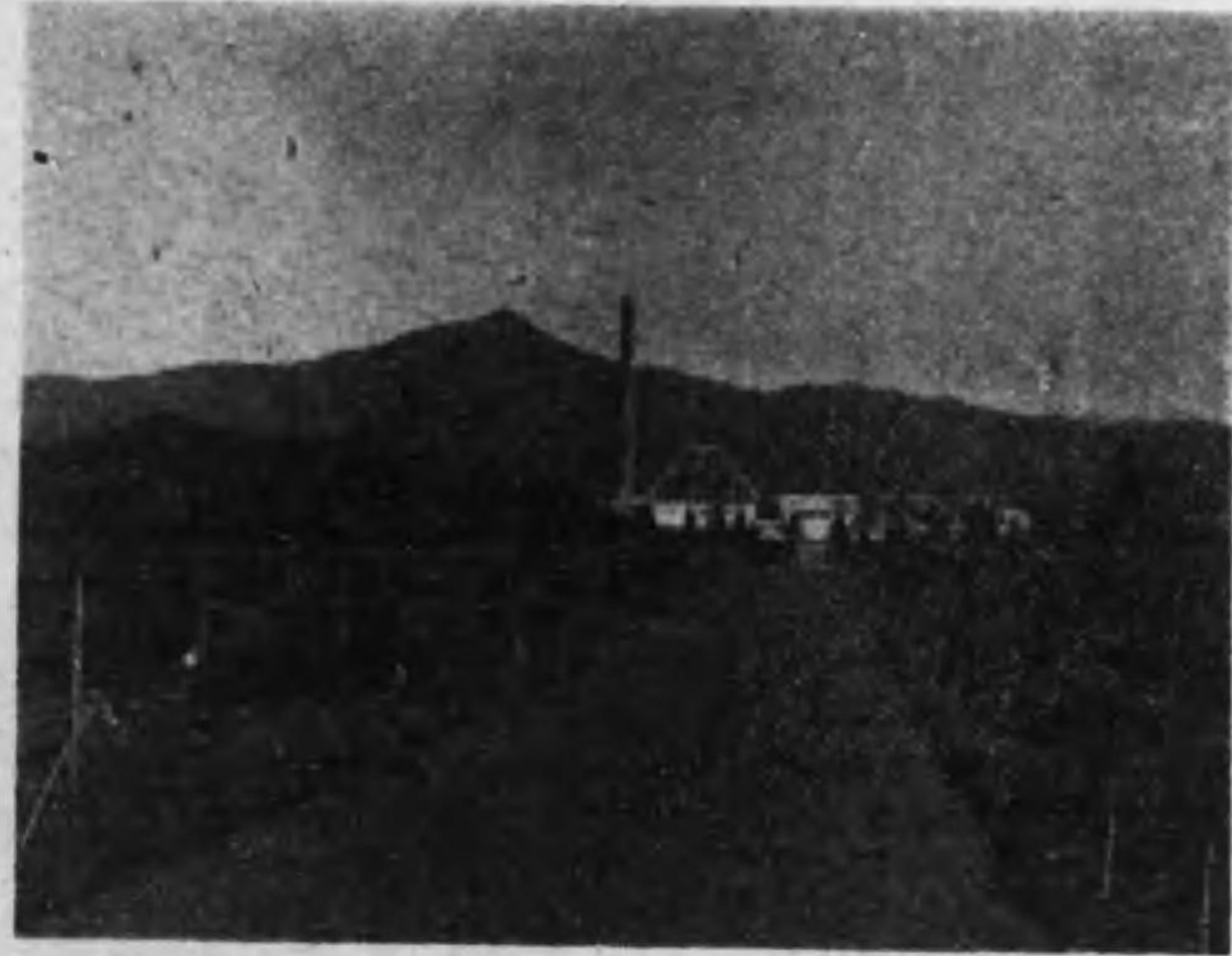
十二月の巻

「落葉の音繁し」で今月に入れば師走となり何かと歳末の仕事も加はり氣忙しい月であります、又一年中で夜間最も長く晝間最も短い所謂冬至を挟んで勞作する時間も極く尠くなり寒さも逐次肌に沁みて能率も從つて上らない事夥しいです、私の菜園の仕事も收穫物の採取さへ思ふに任せない程になり勝です、凡ては冬籠りの準備月だけに此方面の作業を寸暇をさいて順序良くやつて置ませう、一月に入れば畑仕事は仲々手につかないものですから。

〔野菜園〕 私の畑で今月收穫致しますものを挙げますと各種大根、蕪、白菜、葱、唐菜、抑制トマト、セルリー、人参、花椰菜、高菜、萵苣、リーキ、セリ、小松菜、クワイ、隼人瓜、落花生、ホーレンサウ、甘藷、冬ジャガイモの面々は香り高い之等晩秋の野菜で賑ひ、何れも天候に恵まれて上々の出來菜で連日新鮮な野菜料理は亦格別結構に戴いて居りますのも楽しい農園仕事の賜です、只甘藷だけは思つたよりも數量が尠かつたことは甚だ遺憾でした、同時に子供達の希望してゐた落花生も同様に實入りが少かつたことは残念でしたが之れも或程度我慢しなければなりません、稲作の良い年は松茸は不作ですから、總てに豊作を望むことは寧ろ慾が深か過ぎると云ふものでせう、芋類、苳類は何れも蔭所で十分乾燥し貯藏食糧として大切に使ふことにしてゐます。

今月私共の菜園は日當が良いので尙相當暖かなのを幸ひ、條件さへ良ければ尙上旬にシユン

ギク、洋種ホーレンサウ、絹莢豌豆、蠶豆、就中絹莢豌豆は莢の小さい種類と大莢種を蒔く積りです、然し苗を植えて差支へない種類が相當他にありませんので、之等は是非上旬に採取した跡地を夫々整地し基肥として堆肥と木灰、下肥を施して植える考へです、即ち苺苗ですが種類はビクトリア種と在來種を特に日當りの良い場所を選んで植えます、苺の移植は十月中旬が適季なのですが御承知の通り苺は年中畑を塞いでゐる作物であり乍ら、收穫期は短かいと云ふ處から今年は新株を其儘に虐待して置きましたが、場所はあるのと、其季節に少しでもないと淋しい氣もするので遅れ走せながら大急ぎで株元の第一株を採り普通畝に三列に五―六寸間隔に植えます、時季外れのため直ちに木灰と切藁糠殻の類を株元一面



こもで冬すでのもたい草で草蓋み組を柵竹除霜な易簡
施を肥下は中前午の日に暖らかすまし致燥乾に當相は下の
。すまりあて調順る畝が長生の春とす

に敷いて保温に努めませう、土質は緊つた所が宜しい、尙石垣の横の法の場所を丁度芝生の土留植様に植え付け地積の利用を兼ねて頗る集約的に苺栽培を試みて見ませうと目下整地の眞最中で、静岡縣久能附近の石垣作りを眞似る積りです。

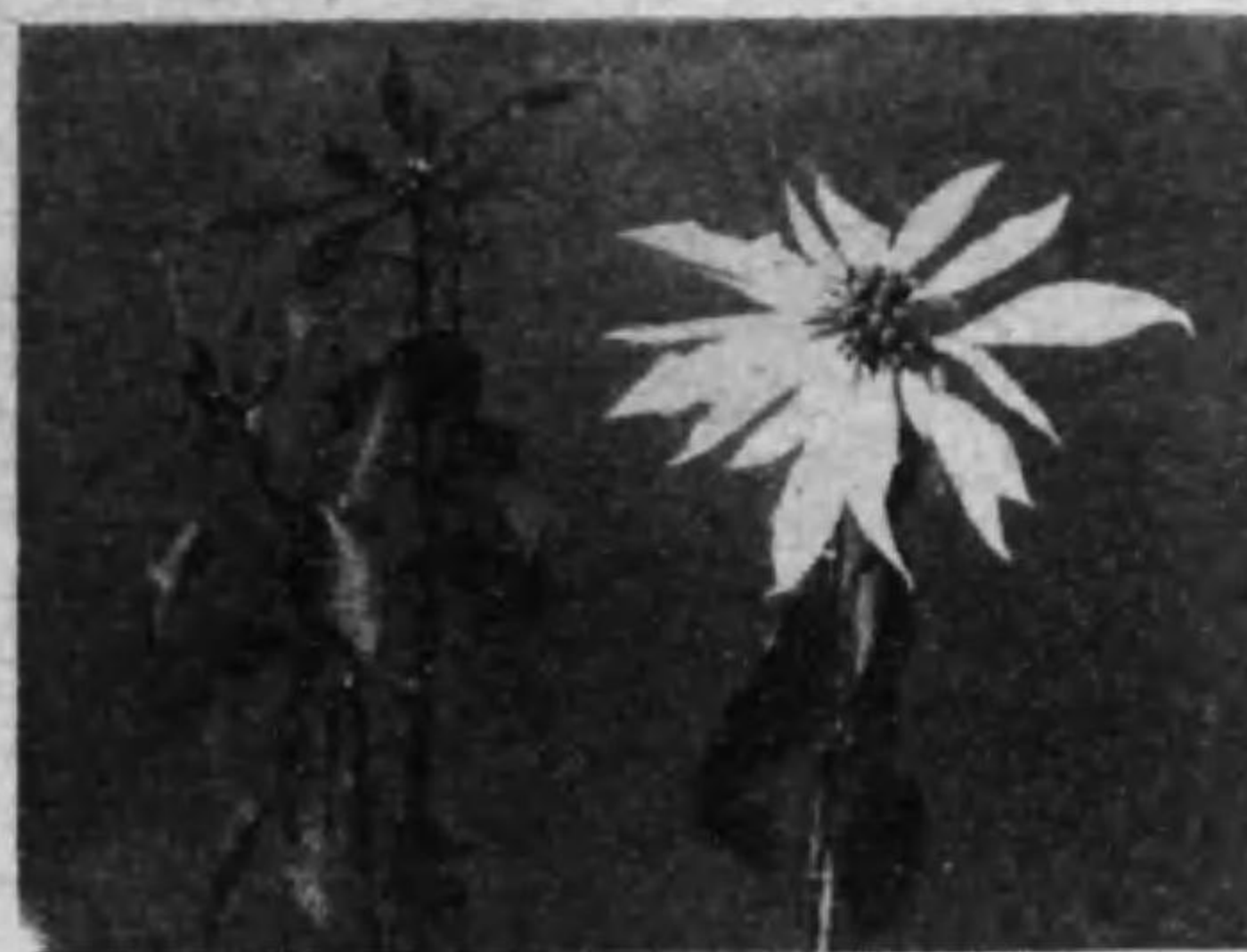
以上の他體菜、白菜、京菜、千筋菜、高菜、甘藍、玉葱、玉チシヤ、ウマイ菜、若菜等の苗が夫々移植されて宜しく、今月中に少しの畑をも空かせず全部之等の苗を植付けて置きます。扱て手入の一般としては播いたものには是非再三灌水を行つて欲しいのです、假令生へましても二日置き位に一回淡い下肥とか水を與へませんと仲々生長しません、夏の灌水は初心者の方でも良く氣を付けて行ひますが、冬季中は寧ろ凍るからとてやらない方が多い事は間違つた考へで、寧ろ可成りの灌水が望しいのであります、次に主なる野菜の手入を擧げて見ませう。

蠶豆 一株六―七本立と一―二回中耕して下さい、根切虫、夜盗虫の被害には早朝其附近を克明に探して捕殺し蚜虫には石鹼水を撒布します、根元にはモミガラを置いて寒害を防ぎます。

豌豆 長さ六尺位の竹支柱を立て之に藁繩を二―三段張り更に藁を吊して支柱を設けます、藁のない時は笹を立てます、豈料の植物ですが生育の具合によつて淡い下肥を一―二回年内に施します、施肥前中耕を致しますが極く浅く行ふので深耕は有害です。

玉葱 三尺幅の畦に三條植とし株間は五寸位中庸に發育した苗を植えます、乾燥に失しますと失敗しますから、定植が終れば直ぐ厩肥か堆肥を薄く敷いて置き、二週間後葉色が悪い様でしたら一―二回淡い下肥を與へます。

大根 寒さのために首が凍害にかゝりますから、株許に十分土寄をして欲しいものです。
 蕪 藪くも株間を八寸から一尺位とし他は間引きます。時々中耕と同時に下肥を與へるので乾燥に失した際は枯葉を生じ根の肥りを妨げるものです、蚜虫の發生に注意し驅除に努めませう、薬品の入手困難のために何處の畑も相當虫害に犯されてゐることは洵に残念です。
 人參 今月採取するのが普通ですが、その儘春彼岸頃迄畑に置いて隨時收穫されて宜しい、



末旬 温部 室内 葉の 飾り 強弱 木々 夏 戸外 鉢栽 十月 下旬 には あり ます 等

この間蕪同様時々施肥すれば肥大し見事な株が得られます、亦跡作の關係から一時に收穫し場合には、深さ約一・五尺位の穴を掘り豫め選別した無傷の人參を斜に併列して土を覆ひ、層々に土をかけて置きますと三月頃迄貯藏が出来ます。
 牛蒡 秋播牛蒡は今月に入り結霜甚だしく寒さが加はります時は、往々枯死することがありますから、根元に藁を敷き土寄せを行ひ冬期中の保護を行います、三・四月播の秋用牛蒡は今月收穫し正月用に供するのであります。

甘藍 十月月上旬に蒔いた夏用甘藍の苗は本月中旬に二尺の株間を保たせ定植を済ませます、冬期中でも可成り蚜虫の發生を見ますから是れが驅除の勳行が肝要であります。今期定植した苗は六月から七月に收穫しますが、此の間三・四回の追肥を施すのであります、基肥として草木灰、馬糞或は鶏糞の類を十分用ひて置くことが大切です、尙生育中は再三中耕を行ひ根群の發達に資すべきであります、この事は結球に直接影響を及ぼすものであります。
 要するに冬期中の菜園は害虫驅除と、中耕、施肥に灌水を行ふことで、私共の考へてゐる以上水分を欲求することを御記憶願ひ度いのです、寒い地方ですと畑に笹葉を立て、寒害を防ぎます、この仕事は些事の様考へられますが驚く程發育に効果があるものです、關西地方の方でも試みて御覽下さい、私共の一寸した心遣ひには必ず豫想以上の成果となつて報いてくれるに違ひありません。

〔花壇〕 さしも絢爛、豪華を極め我等一年の勞苦に應へた菊花壇も凋花し、霜除去に寒菊の綻びるのみとなりました、採種用のもは株元から剪り取り軒に吊し蔭乾し暇に採種します、大菊の採種には熟練を要しますが、山菊類は相當良種が容易に得られて興味深いものです、花壇植のものは各株に落葉、刈草等を覆ひ越冬し、鉢植のものは苗床に移し、名稱札を書き替へ次年の挿芽、或は株分の準備を致します、小菊の大作り用には今月末既に株分を始め冷床とか藁圍ひした苗床に挿芽し、菊作りの第一歩を踏み出すのであります。
 草花壇に定植済の各苗には中耕し併せて下肥の稀釋液を施し發育を促しませう、お庭の一隅を割いて葉牡丹、實生南天等に寒水石(盆石に用ひる白色の石)を利用して多少繊細な模様を

壤土	四、〇—五、〇	二、五	七、上	八、下	甜瓜ニ津ズ	二、〇—二、五	育苗ニヨルトキハ大畝ニ一三枚	播種	一ヶ月後	二五〇—三〇〇	四—八
壤土	六、〇—八、〇	四、〇—五、〇	三、下	直床播	直床播	三、〇—四、〇	五、上、中	八、上	八、上—一〇、下	八〇〇—一、五〇〇	一〇
伏ナル砂質壤土	四、〇—六、〇	三、〇—四、〇	直床播	直床播	直床播	四、一七、〇	五、上	八、上	一〇、下	三〇〇—四〇〇	三—五
乾燥ヲ忌ム	三、〇	一、五	同	同	同	五、〇	五、上、中	七、九	四〇〇—五〇〇	一—三	
紫リタル土質性ヲ忌ム	四坪ニ就キ一株	三、中—四、上	鉢播	鉢播	鉢播	七五類	五、上	一〇、一—二	一五—三〇	一—五	
土、砂壤土	六、〇	四、〇	直床播	直床播	直床播	四、〇	五、上	七、中—八、下	一、〇〇〇	二—五	
土、粘質壤土	三、〇—四、〇	二、五—三、〇	温床播	温床播	温床播	一、〇	(二回假植)	六、中—一〇、下	八〇〇—一、五〇〇	六—一〇	
實壤土強粘土ヲ	二、〇—三、〇	二、〇—三、〇	同	同	同	一、〇	(一回假植)	七、中—九、下	六〇〇—一、〇〇〇	四—九	
	二、五—三、〇	二、本仕立	冷床播	冷床播	冷床播	一、〇	(二回假植)	一〇、中—一二、下	五〇〇—七〇〇	四—七	
	二、〇	一、〇—一、二	温床播	温床播	温床播	二、〇—二、五	五、中	七、下—一二、上	二五〇—五〇〇	四—七	
	二、五—三、〇	二、二—一、五	點播	點播	點播	三、〇—六、〇	二、三	六、一—八	二〇〇—四五〇	三—八	
	二、〇—二、五	二、〇—一、〇	點播又ハ移植	點播又ハ移植	點播又ハ移植	三、〇—六、〇	二、三	八、下—一二、上	八〇—一五〇	三—八	

家庭園向蔬菜栽培要覽

種名	栽培期	優良品種名	年輪作	土	畦幅	株間	播種期	播種法	反當	定植期	採收期	反當收量	種子
大根	春用	時無、春福	一年	肥沃ニシテ深ク耕 水良キ砂質土	二尺	一〇、 七、 七、 七、	七、中 七、上 七、上	條播	六〇	四、中 四、上	四、上 四、上 四、上	一、〇〇〇 一、〇〇〇 一、〇〇〇	一〇
胡蘿蔔	夏用	時無、四十日早生 聖護院、白首宮重 美濃早生 聖護院、美濃早生	一年	肥沃ニシテ深ク耕 水良キ砂質土	二尺	一〇、 七、 七、 七、	七、中 七、上 七、上	條播	六〇	四、中 四、上	四、上 四、上 四、上	一、〇〇〇 一、〇〇〇 一、〇〇〇	一〇
蕪菁	冬用	今市小蕪、近江 聖護院、近江	一年	砂質土 粘質土	三尺	一〇、 七、 七、 七、	七、中 七、上 七、上	條播	六〇	四、中 四、上	四、上 四、上 四、上	一、〇〇〇 一、〇〇〇 一、〇〇〇	一〇
牛蒡	冬用	金時、三寸 時無、三寸	一年	肥沃ニシテ深ク耕 水良キ砂質土	二尺	一〇、 七、 七、 七、	七、中 七、上 七、上	條播	六〇	四、中 四、上	四、上 四、上 四、上	一、〇〇〇 一、〇〇〇 一、〇〇〇	一〇
甘藷	冬用	三寸 金時、三寸	一年	肥沃ニシテ深ク耕 水良キ砂質土	二尺	一〇、 七、 七、 七、	七、中 七、上 七、上	條播	六〇	四、中 四、上	四、上 四、上 四、上	一、〇〇〇 一、〇〇〇 一、〇〇〇	一〇
薯蕷	冬用	長芋、伊勢芋 サトウ、伊勢芋	一年	粘質土 砂質土	三尺	一〇、 七、 七、 七、	七、中 七、上 七、上	條播	六〇	四、中 四、上	四、上 四、上 四、上	一、〇〇〇 一、〇〇〇 一、〇〇〇	一〇
煙草	夏用	青葉種 マンモス アイランド アインランド	一年	砂質土、粘質土 粘質土	三尺	一〇、 七、 七、 七、	七、中 七、上 七、上	條播	六〇	四、中 四、上	四、上 四、上 四、上	一、〇〇〇 一、〇〇〇 一、〇〇〇	一〇
波羅門參	夏用	マンモス アイランド アインランド	一年	砂質土、粘質土 粘質土	三尺	一〇、 七、 七、 七、	七、中 七、上 七、上	條播	六〇	四、中 四、上	四、上 四、上 四、上	一、〇〇〇 一、〇〇〇 一、〇〇〇	一〇
亞米利加防風	夏用	マンモス アイランド アインランド	一年	砂質土、粘質土 粘質土	三尺	一〇、 七、 七、 七、	七、中 七、上 七、上	條播	六〇	四、中 四、上	四、上 四、上 四、上	一、〇〇〇 一、〇〇〇 一、〇〇〇	一〇
球莖甘藍	夏用	ホワイ、ホワイ ホワイ、ホワイ	一年	肥沃ニシテ深ク耕 水良キ砂質土	三尺	一〇、 七、 七、 七、	七、中 七、上 七、上	條播	六〇	四、中 四、上	四、上 四、上 四、上	一、〇〇〇 一、〇〇〇 一、〇〇〇	一〇
馬鈴薯	夏用	ホワイ、ホワイ ホワイ、ホワイ	一年	肥沃ニシテ深ク耕 水良キ砂質土	三尺	一〇、 七、 七、 七、	七、中 七、上 七、上	條播	六〇	四、中 四、上	四、上 四、上 四、上	一、〇〇〇 一、〇〇〇 一、〇〇〇	一〇
蓮根	夏用	赤花種、白花種 青、秋田(小粒種)	一年	肥沃ニシテ深ク耕 水良キ砂質土	三尺	一〇、 七、 七、 七、	七、中 七、上 七、上	條播	六〇	四、中 四、上	四、上 四、上 四、上	一、〇〇〇 一、〇〇〇 一、〇〇〇	一〇
葱	夏用	青、秋田(小粒種)	一年	肥沃ニシテ深ク耕 水良キ砂質土	三尺	一〇、 七、 七、 七、	七、中 七、上 七、上	條播	六〇	四、中 四、上	四、上 四、上 四、上	一、〇〇〇 一、〇〇〇 一、〇〇〇	一〇
甘藷	夏用	五色種、黄色種 白色種、黄色種	一年	肥沃ニシテ深ク耕 水良キ砂質土	三尺	一〇、 七、 七、 七、	七、中 七、上 七、上	條播	六〇	四、中 四、上	四、上 四、上 四、上	一、〇〇〇 一、〇〇〇 一、〇〇〇	一〇
葱	夏用	青、秋田(小粒種)	一年	肥沃ニシテ深ク耕 水良キ砂質土	三尺	一〇、 七、 七、 七、	七、中 七、上 七、上	條播	六〇	四、中 四、上	四、上 四、上 四、上	一、〇〇〇 一、〇〇〇 一、〇〇〇	一〇
分葱	夏用	青、秋田(小粒種)	一年	肥沃ニシテ深ク耕 水良キ砂質土	三尺	一〇、 七、 七、 七、	七、中 七、上 七、上	條播	六〇	四、中 四、上	四、上 四、上 四、上	一、〇〇〇 一、〇〇〇 一、〇〇〇	一〇
石刀	夏用	青、秋田(小粒種)	一年	肥沃ニシテ深ク耕 水良キ砂質土	三尺	一〇、 七、 七、 七、	七、中 七、上 七、上	條播	六〇	四、中 四、上	四、上 四、上 四、上	一、〇〇〇 一、〇〇〇 一、〇〇〇	一〇
土當歸	夏用	青、秋田(小粒種)	一年	肥沃ニシテ深ク耕 水良キ砂質土	三尺	一〇、 七、 七、 七、	七、中 七、上 七、上	條播	六〇	四、中 四、上	四、上 四、上 四、上	一、〇〇〇 一、〇〇〇 一、〇〇〇	一〇
高麗菜	夏用	青、秋田(小粒種)	一年	肥沃ニシテ深ク耕 水良キ砂質土	三尺	一〇、 七、 七、 七、	七、中 七、上 七、上	條播	六〇	四、中 四、上	四、上 四、上 四、上	一、〇〇〇 一、〇〇〇 一、〇〇〇	一〇
子持甘藍	夏用	青、秋田(小粒種)	一年	肥沃ニシテ深ク耕 水良キ砂質土	三尺	一〇、 七、 七、 七、	七、中 七、上 七、上	條播	六〇	四、中 四、上	四、上 四、上 四、上	一、〇〇〇 一、〇〇〇 一、〇〇〇	一〇
白菜類	夏用	青、秋田(小粒種)	一年	肥沃ニシテ深ク耕 水良キ砂質土	三尺	一〇、 七、 七、 七、	七、中 七、上 七、上	條播	六〇	四、中 四、上	四、上 四、上 四、上	一、〇〇〇 一、〇〇〇 一、〇〇〇	一〇

(裏面へ)

紫リタル土質	二、〇—三、〇	二、〇—一、三	二〇、下	點	播	五〇、一八〇、〇	三、一—三	英中六中 實六下七上	生實五石 乾實二石	六一〇
質壤土、粘質壤 (酸性ヲ忌ム)	四、〇	一、〇—一、五	二〇、下	點	播	二〇、一四五	三	五、中—六	嫩莢三〇〇 剝實一四五〇 四石	二一五
	二、五	一、〇	八、上— 九、上	點		二〇、〇	三	一〇、下—一	嫩莢 二〇〇、一五〇	
輕土	二、〇	〇、六	四、上—五	條播	播	五〇、〇	三	七、一—八	枝付四〇〇 一五〇〇	二一六
	二、〇—二、五	一、〇—一、五	四、中— 五、上	點播(床播トシ テ移植シ得)		三〇、〇	三、一—三	七、一—八	青莢三〇〇 一四〇〇	二一五
質砂土	二、五	一、二— 一、五	四、中— 五、上	點播(床播トシ テ移植シ得)		四〇、〇		七、下—一〇	莢四〇〇—四五〇	二一四
貴土	二、五—三、〇	二、五—三、〇	四、下— 五、上	點	播	八〇、一〇〇、〇	二、一—三	八、一—一〇	四—五萬莢	二一四
	二、五	一、〇— 一、五	四、中、下	直床播		種實四〇、〇	三、一—三	一〇、下— 一一、中	一〇〇—一三〇	
紫レル土	三、〇	〇、八	同	同	播	二〇	三、一—三	約七、一—九 實軟莢四—五石 約一ヶ月後 子實八斗—一石	一五〇—二〇〇	五一〇
土、壤質粘土	二、五	一、五	三、下— 四、中	直床播		三〇、〇—四〇、〇	一〇、中	五、一—六	一五〇—三〇〇	三一六

昭和十八年九月二十五日印刷
昭和十八年九月三十日發行

私の菜園

非賣品

編輯者兼
發行所

大阪市東區今橋三丁目五番地
三和信託株式會社總務課

印刷者

大阪市大淀區豐崎西通三丁目二一
(西大八四) 商業グラビヤ印刷所

發行所

大阪市東區今橋三丁目五番地
三和信託株式會社

438
255

終

